

基本政策 9

人々のつながりが広がる
文化の香りと平和に包まれたまち

目 次

基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち

9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	頁
【125】	自治振興事務（地域振興課）・・・・・・・・・・・・・・・・	300
【126】	コミュニティ活動支援事業（地域振興課）・・・・・・・・	302
【127】	地域イベントの開催等事業・・・・・・・・・・・・・・・・	304
【128】	社会貢献活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	306
【129】	公衆浴場対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・	308
【130】	公設浴場管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	310
【131】	区民館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	312
【132】	中央会館「銀座ブロッサム」管理事業・・・・・・・・	314
【133】	セレモニーホール管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	316
【134】	浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業・・・・・・・・	318
【135】	地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）・・・・	320
【136】	晴海地域交流センター管理事業・・・・・・・・	322
【137】	日本橋特別出張所管理事業・・・・・・・・	324
【138】	自治振興事務（日本橋特別出張所）・・・・・・・・	326
【139】	コミュニティ活動支援事業（日本橋特別出張所）・・・・	328
【140】	地域コミュニティルーム管理事業（日本橋特別出張所）・・・・	330
【141】	日本橋公会堂管理事業・・・・・・・・	332
【142】	月島特別出張所管理事業・・・・・・・・	334
【143】	自治振興事務（月島特別出張所）・・・・・・・・	336
【144】	コミュニティ活動支援事業（月島特別出張所）・・・・	338
【145】	地域コミュニティルーム管理事業（月島特別出張所）・・・・	340
9-2	豊かな心を育む文化活動の振興	
【146】	地域文化活動の推進事業・・・・・・・・	342
【147】	郷土天文館「タイムドーム明石」管理事業・・・・・・・・	344
【148】	文化財保護事業・・・・・・・・	346
9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	
【149】	地域間交流の推進事業・・・・・・・・	348
【150】	平和推進事業・・・・・・・・	350
【151】	国際交流の推進事業・・・・・・・・	352
【152】	「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業・・・・・・・・	354

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
自治振興事務 (地域振興課)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

町会・自治会とのコミュニケーションを通して地域の現状や課題、要望等を的確に把握するとともに、区が行う各種事務事業の周知や調査等を町会・自治会に委託し、良好な地域コミュニティの維持形成および活性化ならびに区事業の普及推進を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

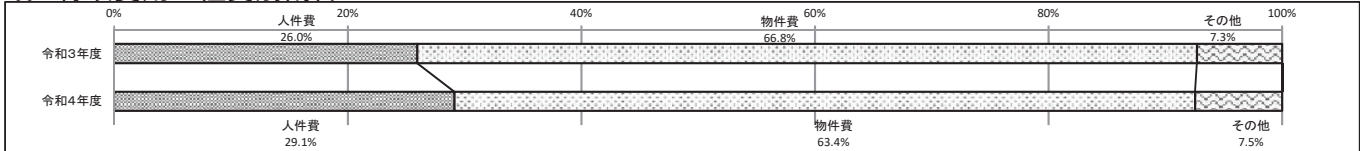
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	16,750,076	20,288,638	3,538,562	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	43,078,772	44,154,627	1,075,855		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,777,343	2,777,343	0		その他	248,719	286,187	37,468
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		248,719	286,187	37,468
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,929,959	2,412,416	482,457	行政収支差額		△64,287,431	△69,346,837	△5,059,406
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		64,536,150	69,633,024	5,096,874	通常収支差額		△64,287,431	△69,346,837	△5,059,406
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△64,287,431	△69,346,837	△5,059,406
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		61,905,673	67,185,438	5,279,765
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△2,381,758	△2,161,399	220,359

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・コミュニティ推進事務委託 38,786,300円 ・施設管理業務等委託 831,921円	決算額の主な内訳	・光熱水費(町会倉庫負担分) 286,187円
主な増減理由	・対象者数増によるコミュニティ推進事務委託料増 362,900円 ・行政懇談会対面開催による運営費増 203,070円 ・複合施設電気等使用実績増による光熱水費増 153,071円	主な増減理由	・町会倉庫電気等使用実績増による光熱水費増 37,468円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

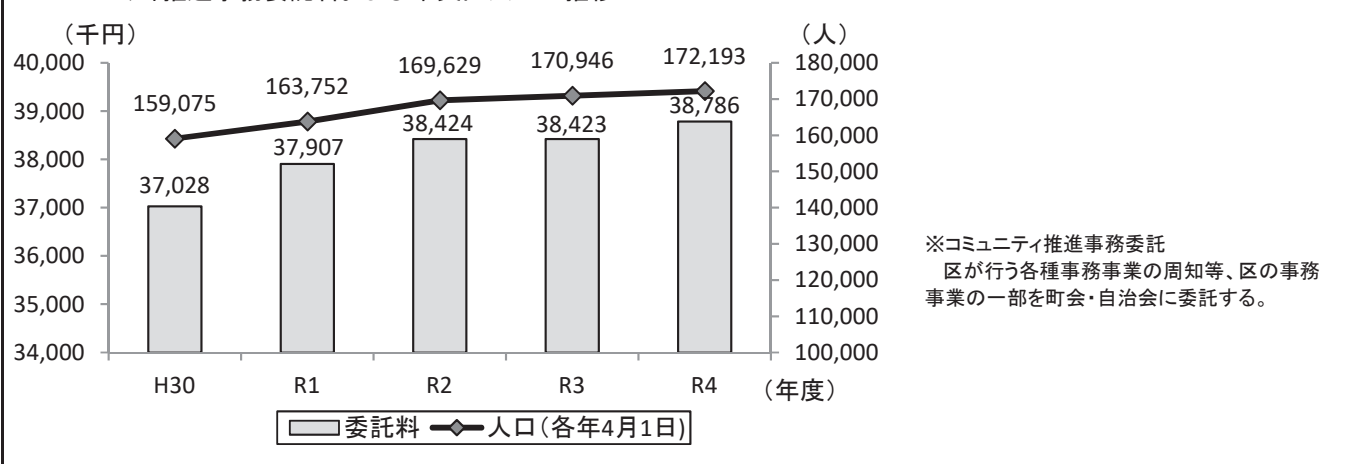
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	813,781	1,066,915	253,134
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	1,770,683	1,770,683	0	特別区債	0	0	0
建物	83,271,868	80,494,525	△2,777,343	退職給与引当金	12,262,049	14,269,656	2,007,607
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	1	1	0	負債の部合計	13,075,830	15,336,571	2,260,741
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	71,966,722	66,928,638	△5,038,084
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	85,042,552	82,265,209	△2,777,343
資産の部 合計	85,042,552	82,265,209	△2,777,343				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・地域集会室他 52,816,900円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 27,677,625円	決算額の 主な内訳	・佃三丁目地域集会室敷地 1,770,683円
主な 増減理由	・地域集会室他減価償却による減 △1,950,023円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫減価償却による減 △827,320円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・軽自動車 1円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—

3 関連データ

コミュニティ推進事務委託料および中央区人口の推移



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・町会・自治会を通して区事業の周知等を行うことにより、各事業の着実な普及および地域コミュニティの活性化に寄与している。
- ・大規模マンション等の整備に伴う新規団体結成の動向を把握するとともに、既存の地域コミュニティとの連携について、コミュニティ連絡相談員等を通じて、良好な地域コミュニティの形成を支援していく必要がある。
- ・京橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から書面開催としていたが、令和4年度は3年振りに対面で開催した。
- ・人口増加や今後予定される再開発に伴う地域コミュニティの変化に対応し、地域コミュニティのさらなる活性化に向けた取組を進める必要がある。
- ・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により行政懇談会を書面開催としたが、令和4年度は感染対策を講じることで、対面で開催することができた。また、コミュニティ連絡相談員は新型コロナウイルスの影響を受けた期間においてもできる限り町会・自治会との対面や電話等でのコミュニケーションをとることで、地域の現状や課題、要望などを的確に把握することができた。

② 今後の方向性

- ・コミュニティ推進事務委託をはじめ行政懇談会等のさまざまな機会を捉えて、町会・自治会に区の事業を普及発展させ、地域コミュニティを活性化していく。
- ・コミュニティ連絡相談員を通じて、町会・自治会からの相談や要望等、地域コミュニティに関する動向を的確に把握するとともに、新規団体結成時に適切な支援を行うことで良好なコミュニティの維持形成を図る。
- ・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業を周知するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。
- ・町会・自治会の組織運営力の向上を図り、地域コミュニティのさらなる活性化に向け、新たな仕組みを検討する。
- ・町会・自治会の活動に対する支援を継続して行うとともにコミュニティ連絡相談員等を通じて良好なコミュニティの醸成や地域活動の活性化を図ること、都心コミュニティの活性化に努める。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	コミュニティ施設(町会・自治会館等)の整備費等助成	中 事 業 2	町会・自治会活動支援	中 事 業 3	町会・自治会ネットワークづくり
コミュニティ活動支援事業 (地域振興課)	中 事 業 4	地域手づくりイベント推進助成	中 事 業 5	地域の盆おどりに対する助成	中 事 業 6	地域コミュニティ連携事業補助
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・地域コミュニティのさらなる活性化のため、町会・自治会への加入促進を図るチラシの作成や活動を紹介する情報誌の発行等を行うとともに、町会・自治会が「区内団体と連携して行う事業」の実施を支援する。また、地域におけるつながりづくりや地域活動の「担い手」を養成するための講座を開催する。

・各町会・自治会の情報発信および連携を促進し、ネットワークづくりを支援するため「町会・自治会ネット」を運用する。さらに、町会・自治会による「手づくり行事」や「盆踊り大会」の実施を支援するとともに、町会・自治会館等の整備費や賃借料の一部を助成する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	14,465,975	12,774,327	△1,691,648	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	3,704,938	4,320,113	615,175		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	27,046,000	47,469,000	20,423,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	5,000,000	5,000,000	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	5,000,000	5,000,000	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,666,783	1,518,929	△147,854		行政収支差額	△41,883,696	△61,082,369	△19,198,673
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		46,883,696	66,082,369	19,198,673	通常収支差額		△41,883,696	△61,082,369	△19,198,673
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△41,883,696	△61,082,369	△19,198,673
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		42,225,338	61,470,185	19,244,847
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		341,642	387,816	46,174

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・コミュニティ施設整備事業助成金 16,678,000円 ・コミュニティ連携事業補助金 12,013,000円 ・コミュニティ助成事業助成金 5,000,000円	決算額の主な内訳	・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」発行委託 1,466,300円 ・中央区町会・自治会ネットの運営委託 966,163円 ・「地域のつながりコミュニティ」担い手養成プログラムの委託 881,400円
主な増減理由	・コミュニティ施設改築による整備事業助成金増 13,961,000円 ・コミュニティ連携事業補助金実績増による補助金増 4,333,000円 ・地域盆おどり大会助成金実績増による補助金増 3,722,000円	主な増減理由	・地域コミュニティPTA(ピタ)っと！事業「ランPAT2.0」の実施に係る委託料皆増800,000円 ・中央区町会・自治会ネットの閉鎖(令和5年1月末)に伴う委託料の減 △166,837円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・コミュニティ助成事業費収入 5,000,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・増減なし	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	702,811	671,762	△31,049
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	10,589,951	8,984,598	△1,605,353
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	11,292,762	9,656,360	△1,636,402
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△11,292,762	△9,656,360	1,636,402
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由

3 関連データ

項目	H30	R1	R2	R3	R4
コミュニティ施設の整備費等助成(件)	31	32	28	32	31
地域手づくりイベント推進助成対象団体数(団体)	63	63	63	63	63
地域手づくりイベント推進助成団体数(団体)	35	33	4	4	17
地域手づくりイベント推進助成件数(件)	50	48	4	5	21
地域盆おどり大会助成件数(件)	27	34	0	0	22
地域コミュニティ連携事業補助金(件)	—	—	—	11	20

○担い手養成プログラムの主な内容

- ・地域コミュニティ活性化講座(全1回)
- ・事前説明会(全1回)
- ・担い手養成塾(全5回)
- ・修了生フォローアップ講座(全4回)

○担い手養成塾修了生(H27-R4総数134人)

年度	修了生人数
平成30年度	14人
令和元年度	16人
令和2年度	18人
令和3年度	17人
令和4年度	16人

4 総括

① 現状・成果・課題

・地域コミュニティの課題を主体的に解決することを推進するために、平成27年度より担い手養成塾の講座を開講している。これまでの修了生の総数は134人となり、修了生同士の交流から立ち上がったプロジェクト「みんなの食堂(勝どきデイルーム)」では、運営メンバーに新規修了生が加わるなど活発な活動がされており、引き続き地域活動の担い手を養成する。

・町会・自治会への加入促進や地域活動への参加を促すため、町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」を年2回発行しているが、令和4年度は年2回の発行を休止し、特別号を発行した。

・令和2・3年度は町会・自治会が主体となって行うイベントの開催数が大幅に減少したが、令和4年度については回復傾向となった。新しい生活様式に沿った地域活動のあり方や活動のデジタル化を含め、社会情勢や町会・自治会の意向に沿った活動を支援していく必要がある。

・町会・自治会の情報発信について、町会・自治会ネットにより支援してきたものを、区ホームページリニューアルに合わせて各団体SNSによる発信へと変更した。併せて区(地域振興課)SNSとの連携により、区ホームページからも各団体の情報を広く発信していくことにより、情報発信力の強化を図った。

・令和3年度に引き続き地域コミュニティ連携事業補助金により、新たな町会・自治会のイベントが開催され、まちににぎわいと活気を取り戻すきっかけとなり、地域活動の活性化に寄与した。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により町会・自治会主催のイベントの多くが中止となったが、令和3年度に創設した地域コミュニティ連携事業補助金により新たなイベントの開催の機運が高まり、令和4年度もイベント開催は回復傾向にあったことから、コロナ禍の厳しい状況においても地域活動の活性化を図ることができた。

② 今後の方向性

・引き続き担い手養成塾を実施し、まちの課題を自ら解決できる修了生を増やしていくことで、「プロアクティブ・コミュニティ」の確立を目指す。また、修了生同士の交流の場の提供や協働ステーション中央の相談事業によるフォローアップの実施により、修了生と多様な団体との連携を支援し地域活動の広がりを促進していく。

・新規転入者をはじめとする町会・自治会未加入者に向けて加入促進や地域活動への参加を促すため、町会・自治会を紹介する「こんにちは町会です」の発行を継続する。

・町会・自治会の行うイベント等については、実施を検討する団体の意向に応じ、新型コロナウイルスとの共存を図りながら、開催に向け積極的に支援を行っていく。町会・自治会への調査等を通じて地域活動におけるデジタル技術の活用やニーズを把握するとともにSNS等により独自に発信している情報と区ホームページの連携を一層強化していく。

・人口増加が続く中、愛着が持てるまち、心が通い合うコミュニティを形成する一助として、引き続き町会・自治会等と連携しながら、地域のイベントを支援していく。

・地域手づくりイベント推進助成において、令和5年度から、助成対象団体について連合町会を加えるとともに、区内の団体等と連携してイベントを実施する場合に金額の上乗せを行う「地域連携加算」を追加して、さらなる地域コミュニティの活性化を図る。

・地域の絆を強め、交流の場となる手作りイベント等の開催を積極的に支援するとともに、SNS等を活用して町会・自治会の情報発信力をさらに強化するなど、町会・自治会の活動に対する支援を行うことで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図っていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	中央区大江戸まつり盆おどり大会	中事業2	隅田川花火大会	中事業3	区民還暦祝い事業
地域イベントの開催等事業	中事業4	雪まつり	中事業5	東京湾大華火祭の再開に向けた基礎調査	中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・各種地域事業を開催することで、多くの区民がふれあい、交流することにより、ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

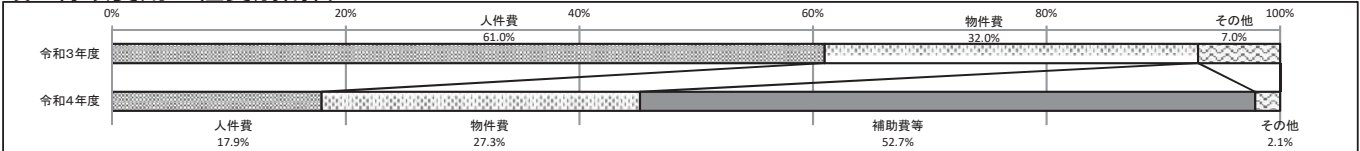
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	9,897,772	17,349,101	7,451,329	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	5,186,004	26,370,853	21,184,849		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	50,971,800	50,971,800		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,140,430	2,055,022	914,592		行政収支差額	△16,224,206	△96,746,776	△80,522,570
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		16,224,206	96,746,776	80,522,570	通常収支差額		△16,224,206	△96,746,776	△80,522,570
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△16,224,206	△96,746,776	△80,522,570
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		16,457,961	97,271,468	80,813,507
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		233,755	524,692	290,937

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・「大江戸まつり盆おどり大会」実施に伴う補助金 49,695,000円	決算額の主な内訳	・「中央区雪まつり」会場設営・進行等業務委託 8,910,000円 ・「区民還暦祝い事業」祝い品作製委託 5,382,300円 ・東京湾大華火祭の再開に向けた基礎調査委託 4,944,500円
主な増減理由	・「大江戸まつり盆おどり大会」再開に伴う補助金皆増 49,695,000円	主な増減理由	・「中央区雪まつり」会場設営・進行等業務委託の皆増 8,910,000円 ・東京湾大華火祭の再開に向けた基礎調査委託の皆増 4,944,500円 ・「中央区雪まつり」雪運搬等委託の皆増 3,350,160円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

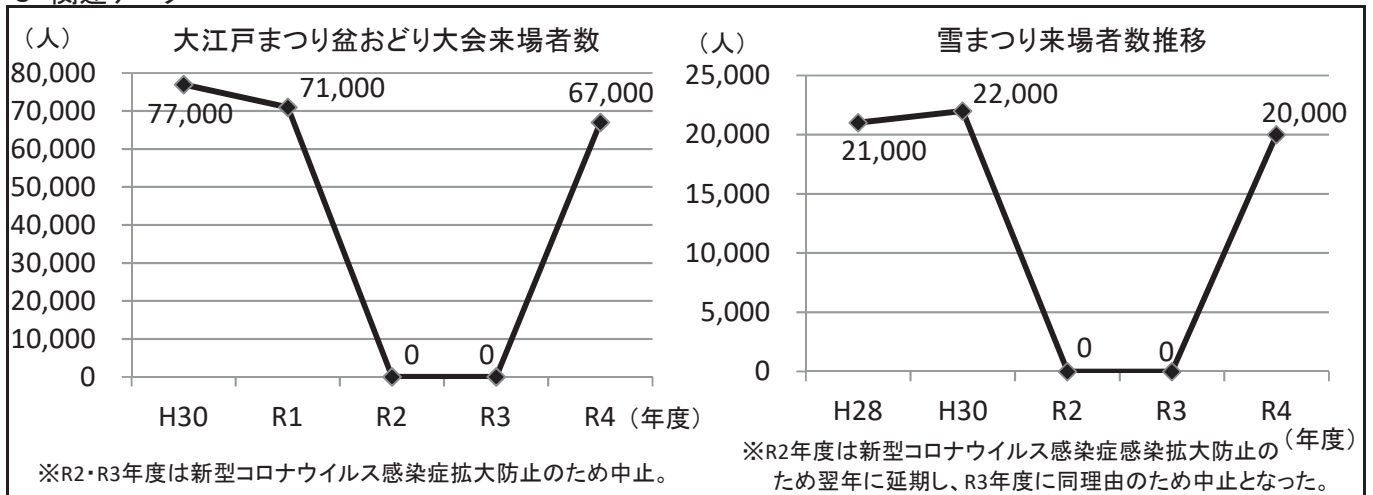
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	480,871	908,854	427,983
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	7,245,756	12,155,633	4,909,877
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	7,726,627	13,064,487	5,337,860
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△7,726,627	△13,064,487	△5,337,860
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・大江戸まつり盆おどり大会および雪まつりは、区内の町会等各団体の協力を得て開催するイベントとして地域の活性化や区民のふるさと意識の高揚に寄与している。新型コロナウイルス感染症の影響により、大江戸まつり盆おどり大会は3年振りに、雪まつりは4年振りに内容等を縮小して開催した。

・大江戸まつり盆おどり大会および雪まつりは、会場の大きさに限りがあるため、多くの区民等が来場し混雑した場合でも安全を確保する必要がある。

・イベントの実施において、人口の増加等により、今後もさらに多くの来場者が見込まれるため、今後も来場者が安全に安心して楽しめるイベントとして運営していく必要がある。

・還暦を迎える区民に対し、還暦祝い品と併せて協働ステーション中央の案内を送付することで、対象者の人生の節目を祝福するとともに、社会貢献活動や地域活動への参加のきっかけづくりとした。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により大江戸まつり盆おどり大会、雪まつりが中止となったが、令和4年度は会場レイアウトや内容の調整および十分な感染対策を講じることで実施することができた。

② 今後の方向性

・イベントの実施において、来場者の安全確保を図り、より安全な運営に努めることで、各種の地域事業を通じて、区民が交流するきっかけづくりの場を引き続き提供していく。

・区民還暦祝い事業については、還暦対象者から回収したアンケートの結果を踏まえながら、引き続き還暦祝い品とともに地域活動に関する案内を送付することで、これまでに培った知識や経験・能力をいかし、地域活動に参加する契機としていく。

・町会・自治会をはじめとした区内各種団体の協力により開催している「大江戸まつり盆おどり大会」や「雪まつり」などを通じて、地域住民同士の交流を促進することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図っていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	社会貢献活動団体との協働の推進	中 事 業 2	協働ステーション中央の改修	中 事 業 3	
社会貢献活動の推進事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

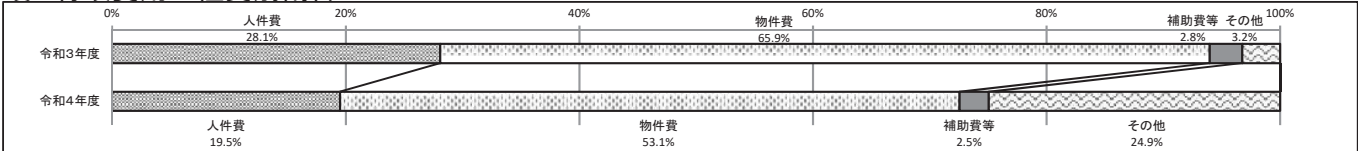
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	10,659,140	8,265,741	△2,393,399	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	24,988,541	22,491,691	△2,496,850		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	1,054,000	1,057,000	3,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	9,592,000	9,592,000		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	2,790	4,130	1,340
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		2,790	4,130	1,340
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,228,156	982,835	△245,321	行政収支差額		△37,927,047	△42,385,137	△4,458,090
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
	小 計	37,929,837	42,389,267	4,459,430	通常収支差額		△37,927,047	△42,385,137	△4,458,090
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△37,927,047	△42,385,137	△4,458,090
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		38,178,783	42,636,078	4,457,295
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		251,736	250,941	△795

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央管理運営等業務委託 14,588,332円 ・協働提案事業委託(1事業分) 1,930,000円 ・社会貢献活動情報サイト運用業務委託 1,149,489円	決算額の主な内訳	・十思スクエア本館外壁および防水改修工事 9,592,000円
主な増減理由	・協働提案事業実施数の減(3事業→1事業)による委託料減 △2,824,500円 ・協働ステーション中央ホームページ制作・運営業務委託による委託料皆増 451,077円	主な増減理由	・十思スクエア本館外壁および防水改修工事による工事費皆増 9,592,000円

勘定科目	補助費等	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・社会貢献活動事業補助金の交付 590,000円 ・協働推進会議委員謝礼 449,000円	決算額の主な内訳	・コピー機等利用に伴う受益者負担金 4,130円
主な増減理由	・認定事業増による社会貢献活動事業補助金増 72,000円 ・協働推進会議委員出席回数減による委員謝礼減 △69,000円	主な増減理由	・コピー機等利用に伴う受益者負担金実績増 1,340円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	517,861	434,669	△83,192
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	1	1	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	7,803,122	5,813,563	△1,989,559
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	8,320,983	6,248,232	△2,072,751
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△8,320,982	△6,248,231	2,072,751
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1	1	0
資産の部 合計	1	1	0				

⑤ 決算額の主な内訳

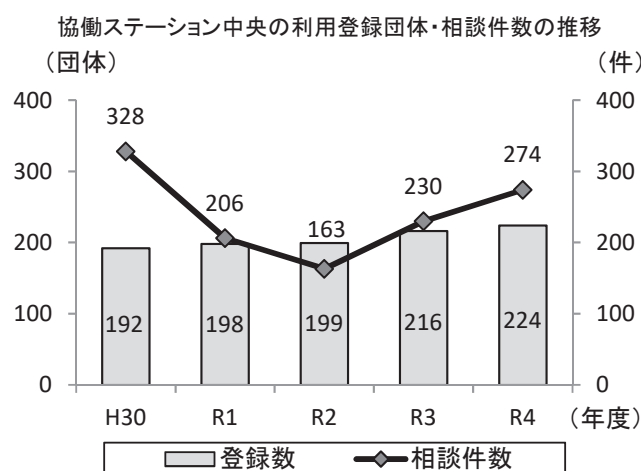
勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・協働ステーション中央(S3年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	令和3年度	令和4年度
協働提案事業通算採択数(件)	19	19
社会貢献活動補助金認定事業数(件)	2	3

・中央区協働推進会議の提言による、協働の仕組みに基づき、協働提案事業1事業を継続実施。(令和2年度採択分)
 <採択事業2年目(令和4年度実施内容・回数)>
 「一緒に体を動かそう」～障害児・障害者を対象とした
 スポーツ・レクリエーション教室事業～
 (スポーツ・レクリエーション教室の実施 計30回)

・協働活動を支える人材の育成、社会貢献活動の情報発信
 として各種講座を実施。(10回開催、延べ参加者数146人)



4 総括

① 現状・成果・課題

・協働ステーション中央の協働事業提案等に関する相談件数について、一つ一つの相談の質を高めるために、複数回に分けて丁寧に細かく相談内容を聞き取る相談体制を実施したことや、各種講座等に参加した方に協働ステーション中央の積極的な利用を呼びかけたことなどが相談件数の増加につながった。
 ・区民等の地域活動への興味・関心を高めるため、社会貢献活動情報サイト等を通じて、協働ステーション中央が実施する講座の周知や登録団体の情報発信を行った。また、区ホームページのリニューアルに合わせて令和5年1月末に社会貢献活動情報サイトを閉鎖し、2月より新たに協働ステーション中央ホームページを開設し、引き続き各種講座の周知や登録団体の情報発信を行った。
 ・協働提案事業については令和2年度に採択された継続の1事業を実施した。また、令和3年度は2件、令和4年度は3件の相談があったが、いずれも採択には至らなかったことから、庁内各課に対し協働に関するアンケートを実施した。アンケート結果から職員の協働に対する認知度・理解度の低さなどの課題が見つかった。
 ・社会貢献活動事業補助金制度での公募の結果、新たに3事業を認定し、補助認定事業は合計で9事業となった。
 ・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響による協働ステーション中央の一時休止や利用制限等により利用者数の減少が見られた。こうした中、令和3年度から相談体制を見直したことやウィズコロナへの社会状況の変化も相まって、相談件数の回復へつなげることができた。

② 今後の方向性

・協働ステーション中央における登録団体とさまざまな主体を結びつける中間支援拠点としてのコーディネート機能の強化を図り、各種講座等を実施することにより団体活動を支援していく。
 ・協働ステーション中央ホームページ等を活用して、区民等が興味・関心を持って地域活動に参加できる環境を整え、情報発信や情報交換の場を提供することにより、各団体の活動支援を行っていく。
 ・庁内各課に対し実施した協働に関するアンケート結果をもとに、業務に関連する社会貢献活動団体の情報提供を希望した課に対し、積極的に情報を提供するとともに職員研修等を通じて職員の協働に対する意識醸成を図っていく。
 ・補助金の交付等による活動支援により社会貢献活動団体の裾野を広げることで、協働事業提案を行うことができる団体を増加させ、より多様化する区民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を図るとともに、区民等の積極的な地域活動への参加を促し、地域の課題を自ら解決できる「地域力」の向上につなげていく。
 ・国や東京都の動向を注視し、基本的な感染症対策を行いつつ、社会貢献活動団体の提案による協働事業を実施し、多様化する区民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を図っていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	公衆浴場対策	中事業2	コミュニティふれあい銭湯	中事業3	
公衆浴場対策事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・公衆浴場の経営の安定を図ることにより、転廃業を防止し、区民の保健衛生の向上を目的として、公衆浴場の設備等整備・燃料費等に要する経費の一部を補助するとともに、浴場事業の振興に要する経費の一部を、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合中央支部に対して補助する。また、世代間の交流や在住・在勤者のふれあいを通じてコミュニティ意識を育むため、区内の全公衆浴場において「コミュニティふれあい銭湯」を開設している。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

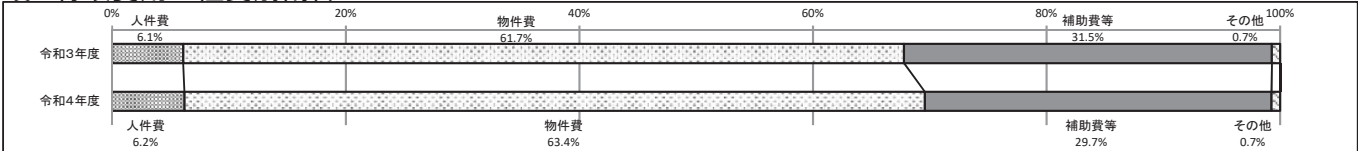
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,806,836	3,757,155	△49,681	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	38,618,582	38,478,934	△139,648		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	19,718,970	18,005,593	△1,713,377		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	438,627	446,744	8,117	行政収支差額		△62,583,015	△60,688,426	1,894,589
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		62,583,015	60,688,426	△1,894,589	通常収支差額		△62,583,015	△60,688,426	1,894,589
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△62,583,015	△60,688,426	1,894,589
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		62,672,921	60,802,489	△1,870,432
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		89,906	114,063	24,157

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・ふれあい銭湯開設委託 38,247,000円	決算額の主な内訳	・公衆浴場対策事業実施に対する区補助金 18,005,593円
主な増減理由	・ふれあい銭湯開設委託料減 △201,300円	主な増減理由	・設備等整備補助件数の減等による補助金減 △1,385,400円 ・確保浴場の収支改善による補助金減 △324,607円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	184,950	197,577	12,627
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	2,786,829	2,642,529	△144,300
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	2,971,779	2,840,106	△131,673
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△2,971,779	△2,840,106	131,673
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

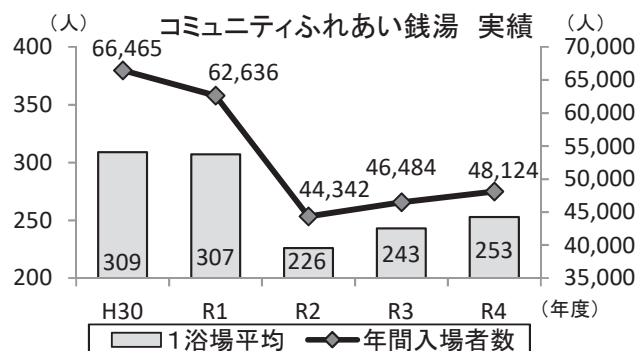
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

設備整備費補助等実績

補助対象事業	令和3年度	令和4年度
かまの更新(件)	0	0
温水器の更新(件)	0	0
浴室および脱衣室塗装(件)	0	1
ポンプの更新(件)	0	0
煙突補修(件)	0	0
浴室等修繕(件)	6	3
クリーンエネルギー化(件)	0	0
耐震化(件)	0	0
燃料費等補助金(浴場)	8	8

※区内公衆浴場:8カ所



※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月～9月は中止し、10月～3月は、毎週金曜日(1月1日を除く)に開設。

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・公衆浴場対策は、公衆浴場の安定経営を図ることにより、転廃業を防止することで、区民の入浴機会を確保している。
- ・コミュニティふれあい銭湯は、世代間交流やコミュニティ意識形成の促進を図っている。
- ・コミュニティふれあい銭湯は令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で一時中止したことなどにより入場者数は大幅に減少した。令和4年度の入場者数は回復傾向にあるが、コロナ禍以前の水準には戻っていない。

② 今後の方向性

- ・引き続き公衆浴場対策を実施することで、公衆浴場の安定経営および区民の入浴機会の確保ならびに公衆衛生の向上を図る。
- ・地域住民の交流やふれあいを促進するため、新型コロナウイルス感染症との共存を図りながら、引き続きコミュニティふれあい銭湯を実施するとともに、公衆浴場のさらなる周知について検討していく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	公 設 浴 場 の 維 持 管 理	中 事 業 2	中 事 業 3
公設浴場管理事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・区が都心地域に公衆浴場を確保するために設置した公設浴場の維持管理を行うことにより、区民の入浴機会の確保と公衆衛生の向上を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

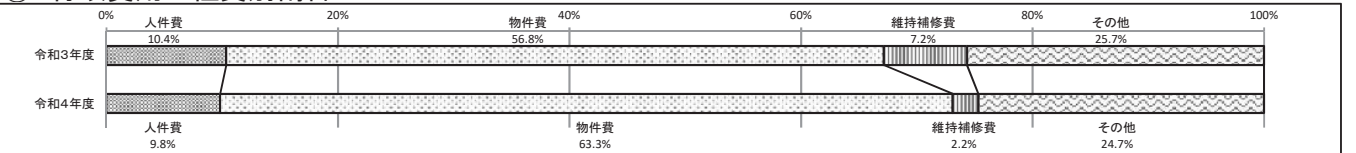
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,284,102	2,254,294	△29,808	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	12,522,224	14,524,932	2,002,708		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	1,585,980	508,420	△1,077,560		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	5,394,359	5,394,359	0		その他	523,925	753,619	229,694
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	523,925	753,619	229,694
	賞与・退職給与引当金繰入額	263,177	268,045	4,868		行政収支差額	△21,525,917	△22,196,431	△670,514
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		22,049,842	22,950,050	900,208	通常収支差額		△21,525,917	△22,196,431	△670,514
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△21,525,917	△22,196,431	△670,514
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		16,185,501	16,870,511	685,010
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△5,340,416	△5,325,920	14,496

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・入船湯給湯ボイラー等設備保守等委託 7,267,387円 ・入船湯賃料および共益費 3,056,102円 ・設備等修繕費 1,149,995円	決算額の主な内訳	・入船湯浴槽用ステンレス手摺取付工事 316,800円 ・十思湯浴室手摺補修工事 132,000円 ・十思湯漏電改修工事 59,620円
主な増減理由	・設備保守等委託増 1,305,092円 ・設備不良増による修繕費増 314,831円	主な増減理由	・銀座湯設備交換等工事皆減 △837,980円 ・十思湯設備改修等工事減 △556,380円 ・入船湯設備改修等工事皆増 316,800円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・十思湯電気料金 753,619円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・十思湯電気料金増 229,694円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

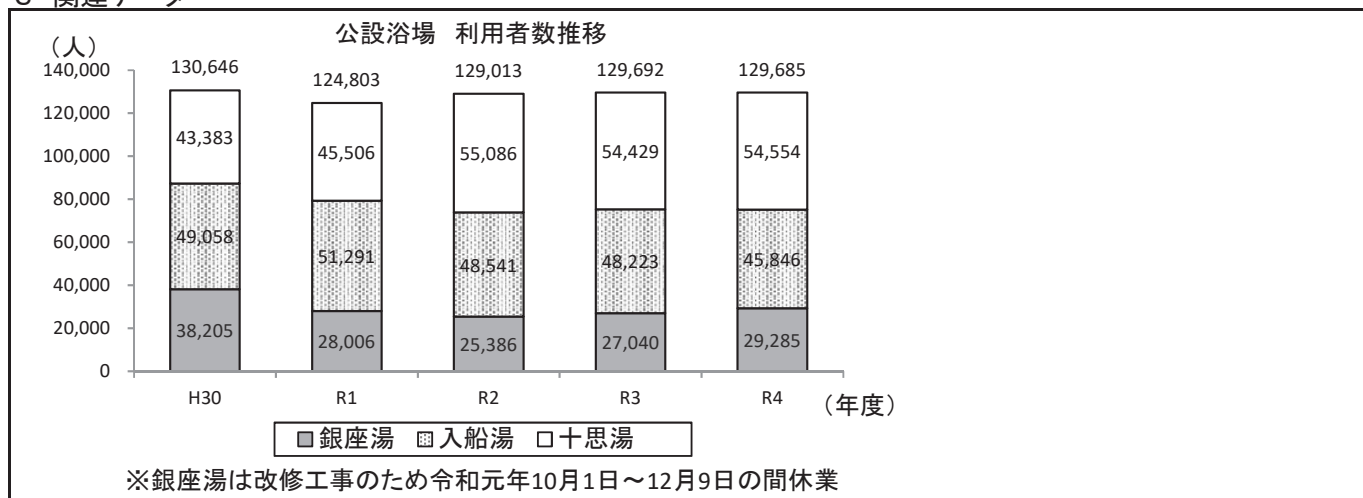
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	110,970	118,546	7,576
固定資産				その他	0	0	0
土地	106,264,000	106,264,000	0	固定負債			
建物	231,957,456	226,563,097	△5,394,359	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	1,672,098	1,585,517	△86,581
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	1,783,068	1,704,063	△79,005
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	336,438,388	331,123,034	△5,315,354
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	338,221,456	332,827,097	△5,394,359
資産の部 合計	338,221,456	332,827,097	△5,394,359				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・十思湯 226,563,096円 ・銀座湯(S50年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	・銀座湯敷地 106,264,000円
主な 増減理由	・十思湯減価償却による減 △5,394,359円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

・コロナ禍により令和2年度当初は利用者の減少が見られたが、その後の利用者は令和4年度まで概ね一定数を保っている。(十思湯は令和2年4月の近隣浴場の廃業に伴い、利用者数が増加)

・基本計画2018の対象となる5年間を通して、令和元年度に銀座湯の改修工事を実施するなど利用者の利便性向上に取り組み、区民の入浴機会の確保と公衆衛生の向上に努めた。

② 今後の方向性

・利用者が安心して施設を利用できるよう適切な維持管理を継続し、必要に応じて修繕等を行っていく。

・地域住民の交流やふれあいを促進するため、公設浴場を含めた公衆浴場のより一層の周知を行っていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	区民館の管理運営	中事業2	区民館の改修	中事業3	人形町区民館建物取得(償還費)
区民館管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会のコミュニティ活動の場の確保・充実等により、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、会議、講習会、サークルの集い等に利用できる集会施設として区民館を管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

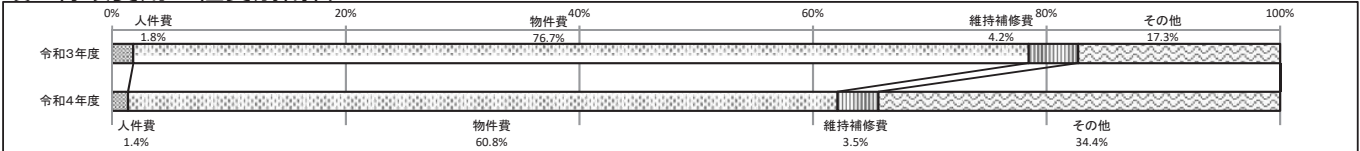
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	6,852,304	6,762,881	△89,423	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	290,434,709	302,532,461	12,097,752		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	16,060,000	17,382,200	1,322,200		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	9,702,000	115,266,330	105,564,330		使用料及び手数料	53,375,465	69,046,638	15,671,173
	減価償却費	54,957,562	55,144,366	186,804		その他	352,655	324,938	△27,717
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		53,728,120	69,371,576	15,643,456
	賞与・退職給与引当金繰入額	789,529	804,138	14,609	行政収支差額		△325,067,984	△428,520,800	△103,452,816
	その他	0	0	0	金融収支差額		△1,486,702	△714,540	772,162
	小 計	378,796,104	497,892,376	119,096,272	通常収支差額		△326,554,686	△429,235,340	△102,680,654
	特別費用	0	115,516,725	115,516,725	当期収支差額		△326,554,686	△544,752,065	△218,197,379
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		271,758,954	374,296,289	102,537,335
特別収支差額		0	△115,516,725	△115,516,725	再計(一般財源調整後)		△54,795,732	△170,455,776	△115,660,044

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・指定管理料 253,215,302円 ・光熱水費 32,003,192円	決算額の主な内訳	・京橋プラザ分庁舎冷暖房設備取替工事 64,858,000円 ・中央区立浜町敬老館等複合施設大規模改修工事 28,650,330円 ・京橋プラザ分庁舎中央監視システム取替工事 19,778,000円
主な増減理由	・光熱水費実績増による増 8,095,460円 ・八丁堀屋上手摺補強工事皆増 1,188,000円	主な増減理由	・京橋プラザ分庁舎冷暖房設備取替工事皆増 64,858,000円 ・中央区立浜町敬老館等複合施設大規模改修工事皆増 28,650,330円 ・京橋プラザ分庁舎中央監視システム取替工事皆増 19,778,000円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・新富区民館照明設備改修工事 6,380,000円 ・新場橋区民館照明設備改修工事 5,720,000円 ・銀座区民館排煙設備補修工事 2,156,000円	決算額の主な内訳	・区民館使用料 68,840,410円
主な増減理由	・京橋区民館照明設備改修工事皆減 △10,780,000円 ・新富区民館および新場橋区民館照明設備改修工事皆増 12,100,000円	主な増減理由	・利用者増による使用料増 15,735,880円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

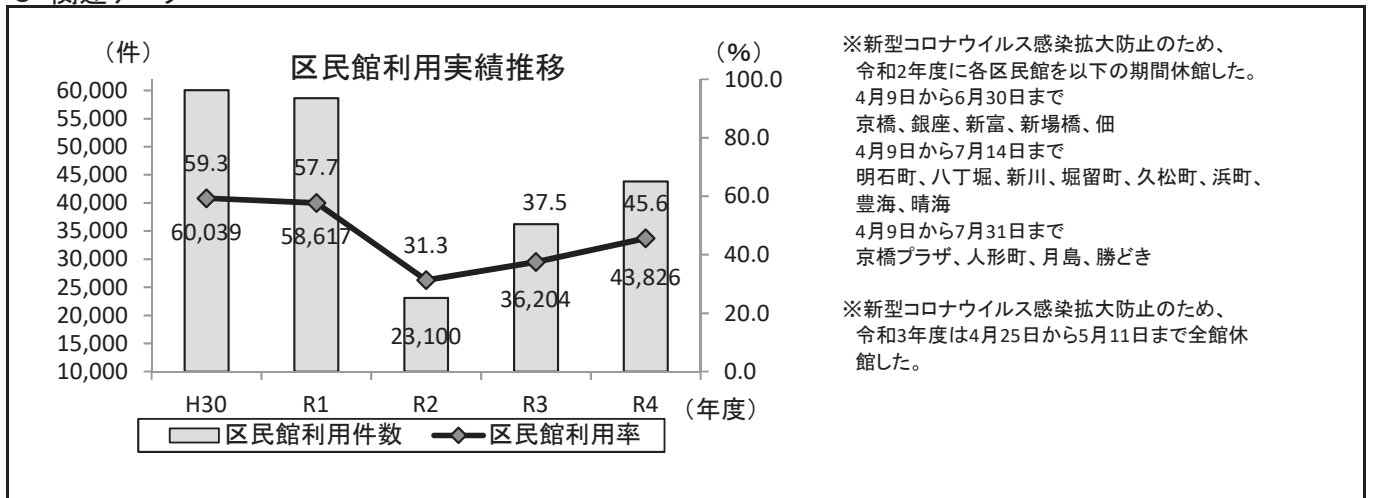
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	332,910	355,638	22,728
固定資産				その他	16,146,000	16,146,000	0
土地	1,085,891,742	1,011,777,017	△74,114,725	固定負債			
建物	1,152,726,370	1,097,622,981	△55,103,389	特別区債	0	0	0
工作物	306,621	265,644	△40,977	退職給与引当金	5,016,293	4,756,552	△259,741
重要物品	0	0	0	その他	129,168,000	113,022,000	△16,146,000
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	150,663,203	134,280,190	△16,383,013
建設仮勘定	71,600,300	120,887,300	49,287,000	正味財産の部合計	2,159,861,830	2,096,272,752	△63,589,078
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	2,310,525,033	2,230,552,942	△79,972,091
資産の部 合計	2,310,525,033	2,230,552,942	△79,972,091				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・区民館(明石町他14区民館) 1,097,622,981円	決算額の 主な内訳	・区民館等敷地(明石町他7区民館) 1,011,777,017円
主な 増減理由	・区民館(明石町他13区民館)減価償却による減 △55,103,389円	主な 増減理由	・H29年度財務会計システム変更時の登録誤りに伴う取 得価格更正による減 △74,114,725円
勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	その他(固定負債)
決算額の 主な内訳	・浜町敬老館等複合施設大規模改修工事 90,689,000円 ・八丁堀区民館等複合施設(区民館)建設工事設計業務委託 30,198,300円	決算額の 主な内訳	・人形町保育園等複合施設の施設整備費 113,022,000円
主な 増減理由	・浜町敬老館等複合施設大規模改修工事皆増 90,689,000円 ・京橋プラザ分庁舎冷暖房設備取替工事に係る過年度修正によ る減 △41,402,000円	主な 増減理由	・人形町保育園等複合施設の施設整備費償還によ る固定負債減 △16,146,000 円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

・コロナ禍における新しい生活様式を踏まえ、令和4年8月より試験的に区民館6館(京橋・新川・人形町・新場橋・月島・勝どき)へWi-Fiを設置した。令和5年1月より本格実施している。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一時休館した。令和2年度に利用実績が大幅に減少したが、ウィズコロナに向けた社会状況の変化に伴い、令和3年度以降は回復傾向にある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、必要に応じた修繕等を行うことで、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援していく。

・非設置館へのWi-Fiの設置については、設置館の利用状況を踏まえて検討していく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	中央会館「銀座プロッサム」の管理運営	中事業2		中事業3	
中央会館「銀座プロッサム」管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民の文化の向上に寄与し、その福祉の増進を図るため、各種設備を備えたホール、結婚式場、集会室を整備し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

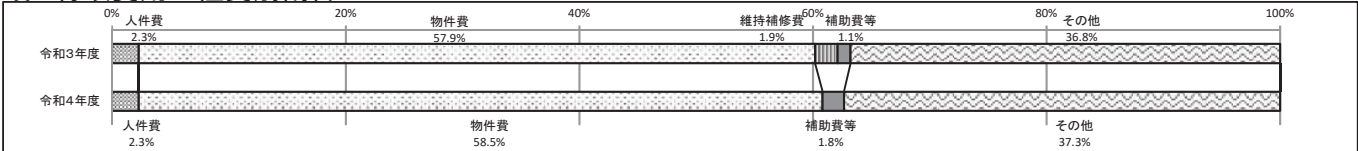
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	6,852,304	6,762,881	△89,423	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	174,233,696	173,515,906	△717,790		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	5,808,000	0	△5,808,000		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	3,320,304	5,435,933	2,115,629		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	4,210,656	4,583,610	372,954
	減価償却費	109,866,130	109,866,130	0		その他	7,921,711	9,495,482	1,573,771
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		12,132,367	14,079,092	1,946,725
	賞与・退職給与引当金繰入額	789,529	804,138	14,609	行政収支差額		△288,737,596	△282,305,896	6,431,700
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		300,869,963	296,384,988	△4,484,975	通常収支差額		△288,737,596	△282,305,896	6,431,700
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△288,737,596	△282,305,896	6,431,700
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		179,033,296	172,645,081	△6,388,215
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△109,704,300	△109,660,815	43,485

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・指定管理料 172,157,537円	決算額の主な内訳	・利用料金減免額の補填に係る支出 5,142,300円
主な増減理由	・備品(所作台・ミラーボール)購入費の皆減 △1,071,400円 ・新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金収入減に伴う指定管理料の増 713,062円	主な増減理由	・利用料金減免額の補填に係る支出の増 2,141,295円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・指定管理者利益相当分の増による区への納付金 9,495,482円	決算額の主な内訳	・結婚式関連業務使用部分使用料 2,684,886円 ・移動通信用基地局設備使用料 1,870,284円
主な増減理由	・指定管理者利益相当分の増による区への納付金増 6,604,255円 ・指定管理者による光熱水費の一部戻入金皆減 △5,030,484円	主な増減理由	・結婚式関連業務使用部分の使用料増 366,434円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

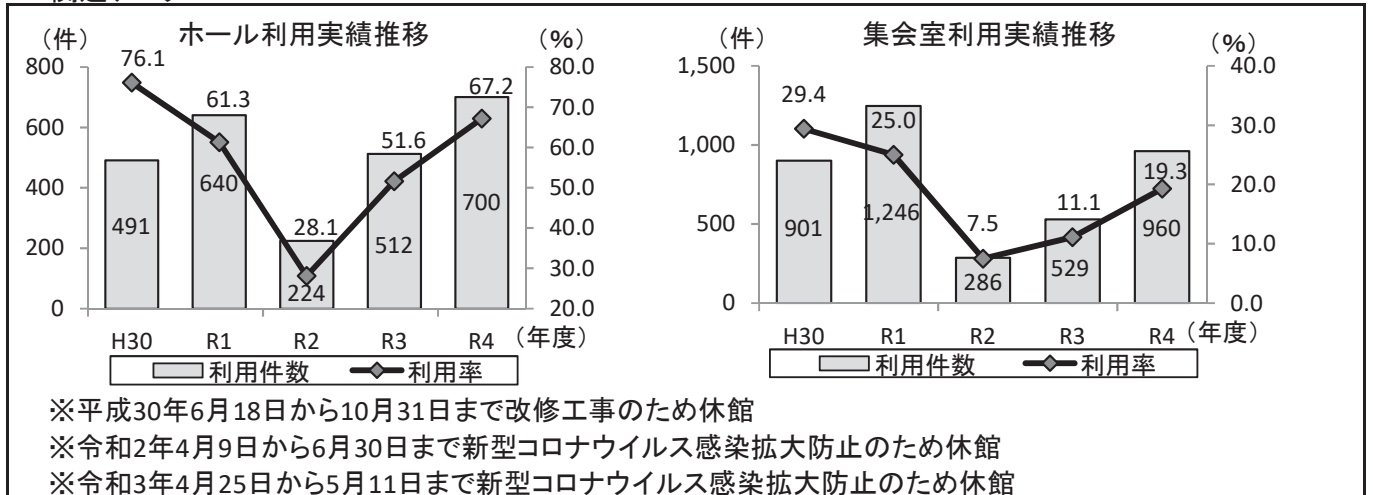
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	332,910	355,638	22,728
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	612,997,600	612,997,600	0	特別区債	0	0	0
建物	995,874,749	890,724,737	△105,150,012	退職給与引当金	5,016,293	4,756,552	△259,741
工作物	1,345,018	1,208,100	△136,918	その他	0	0	0
重要物品	9,158,408	4,579,208	△4,579,200	負債の部合計	5,349,203	5,112,190	△237,013
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,614,026,572	1,504,397,455	△109,629,117
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,619,375,775	1,509,509,645	△109,866,130
資産の部 合計	1,619,375,775	1,509,509,645	△109,866,130				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・中央会館 890,724,737円	決算額の 主な内訳	・中央会館敷地 612,997,600円
主な 増減理由	・中央会館減価償却による減 △105,150,012円	主な 増減理由	・増減なし

勘定科目	重要物品	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・グランドピアノ 4,579,200円	決算額の 主な内訳	・連続地中壁増深部分 1,208,100円
主な 増減理由	・グランドピアノ減価償却による減 △4,579,200円	主な 増減理由	・連続地中壁増深部分減価償却による減 △136,918円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。
- ・コロナ禍における新しい生活様式を踏まえ、集会室(マーガレット、ローズ)にWi-Fiを設置した。
- ・令和4年4月からレストランが休業中であるが人材の確保が困難なことから再開の目途が立っていない。1階レストラン部分の新たな活用について検討していく必要がある。
- ・令和4年12月からの東京ロケーションBOX参加登録により、撮影の利用実績があったことから利用率・利用料収入の向上につなげることができた。
- ・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一時休館した。このことから利用実績が大幅に減少したが、ウィズコロナに向けた社会状況の変化に伴い、令和3年度下期より回復傾向にある。

② 今後の方向性

- ・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考に、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、必要に応じた修繕等を行うことで、コミュニティ活動の場の提供を図るとともに、区民の文化の向上に寄与する役割を果たしていく。
- ・今後の施設の利活用については、結婚式や宴会業務等の需要の変化を踏まえて検討していく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	セレモニーホールの管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
セレモニーホール 管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・区民が葬儀のほか法要、集会、会議等に利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

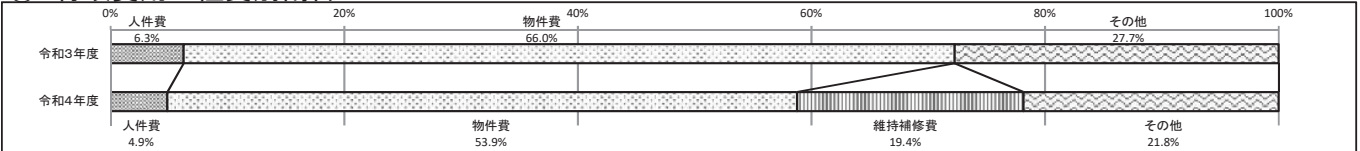
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,284,102	2,254,294	△29,808	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	24,101,413	25,000,190	898,777		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	8,987,880	8,987,880		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	5,905,800	7,605,600	1,699,800
	減価償却費	9,863,602	9,863,602	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		5,905,800	7,605,600	1,699,800
	賞与・退職給与引当金繰入額	263,177	268,045	4,868	行政収支差額		△30,606,494	△38,768,411	△8,161,917
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		36,512,294	46,374,011	9,861,717	通常収支差額		△30,606,494	△38,768,411	△8,161,917
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△30,606,494	△38,768,411	△8,161,917
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		20,796,835	28,973,248	8,176,413
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△9,809,659	△9,795,163	14,496

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・セレモニーホール業務委託 14,923,799円 ・光熱水費 1,721,441円	決算額の主な内訳	・シャッター危害防止装置取付工事 8,500,030円 ・電話設備改修工事 487,850円
主な増減理由	・光熱水費増 368,289円 ・清掃業務委託費増 211,500円 ・自動ドア修理皆増 142,782円	主な増減理由	・シャッター危害防止装置取付工事皆増 8,500,030円 ・電話設備改修工事皆増 487,850円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	・セレモニーホール使用料 7,605,600円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・利用実績増によるセレモニーホール使用料増 1,699,800円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

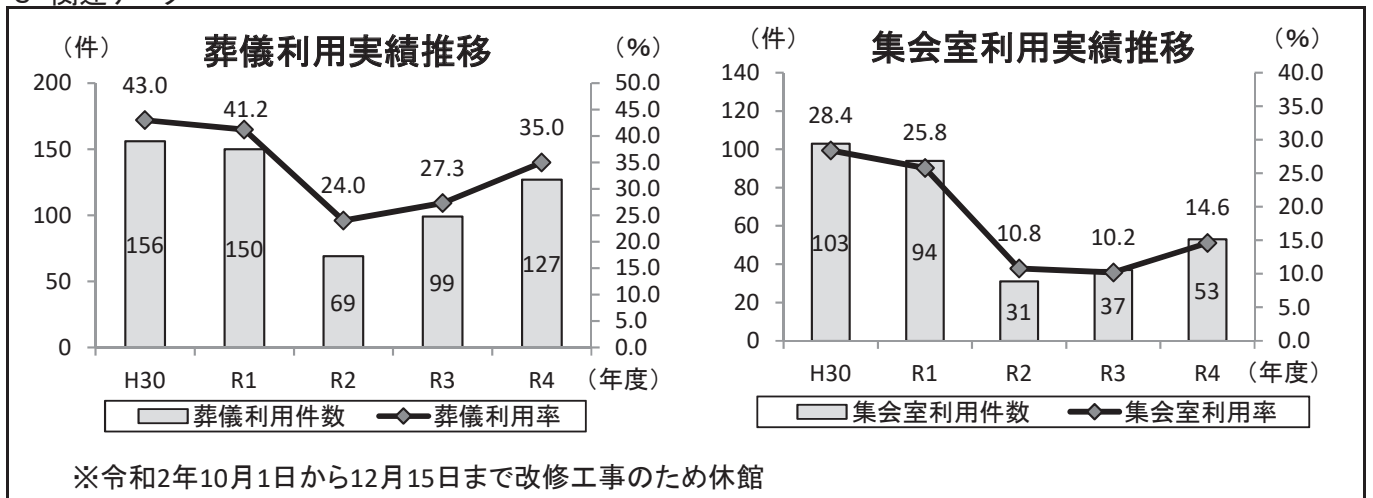
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	110,970	118,546	7,576
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	120,548,000	120,548,000	0	特別区債	0	0	0
建物	235,852,406	226,025,224	△9,827,182	退職給与引当金	1,672,098	1,585,517	△86,581
工作物	874,080	837,660	△36,420	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	1,783,068	1,704,063	△79,005
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	355,491,418	345,706,821	△9,784,597
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	357,274,486	347,410,884	△9,863,602
資産の部 合計	357,274,486	347,410,884	△9,863,602				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・セレモニーホール 226,025,224円	決算額の 主な内訳	・セレモニーホール等敷地 120,548,000円
主な 増減理由	・セレモニーホール減価償却による減 △9,827,182円	主な 増減理由	・増減なし
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁 837,660円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁減価償却による減 △36,420円	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。
 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用実績が大幅に減少した。令和4年度は利用実績は回復傾向にあるものの、コロナ禍以前の水準に戻っていない。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営	中事業2		中事業3	
浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・葬儀利用はもとより、集会、会議等、区民の交流やコミュニティの場として利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

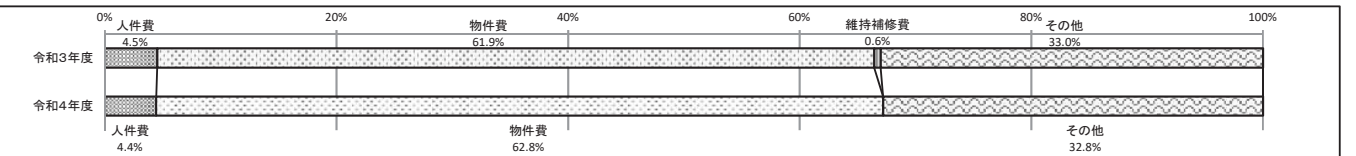
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,045,469	3,005,723	△39,746	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	41,800,401	42,670,108	869,707		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	374,000	0	△374,000		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	3,748,240	5,330,660	1,582,420
	減価償却費	21,938,688	21,938,688	0		その他	0	1,630	1,630
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	3,748,240	5,332,290	1,584,050
	賞与・退職給与引当金繰入額	350,901	357,395	6,494		行政収支差額	△63,761,219	△62,639,624	1,121,595
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		67,509,459	67,971,914	462,455	通常収支差額		△63,761,219	△62,639,624	1,121,595
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△63,761,219	△62,639,624	1,121,595
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		41,894,456	40,792,187	△1,102,269
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△21,866,763	△21,847,437	19,326

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・指定管理料 42,634,468円	決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・指定管理料実績増による増 875,209円	主な増減理由	・浜町メモリアル地下1階機械室等漏水対策工事皆減 △374,000円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	・浜町集会施設使用料 5,330,660円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・葬儀、会議利用件数増による使用料増 1,582,420円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

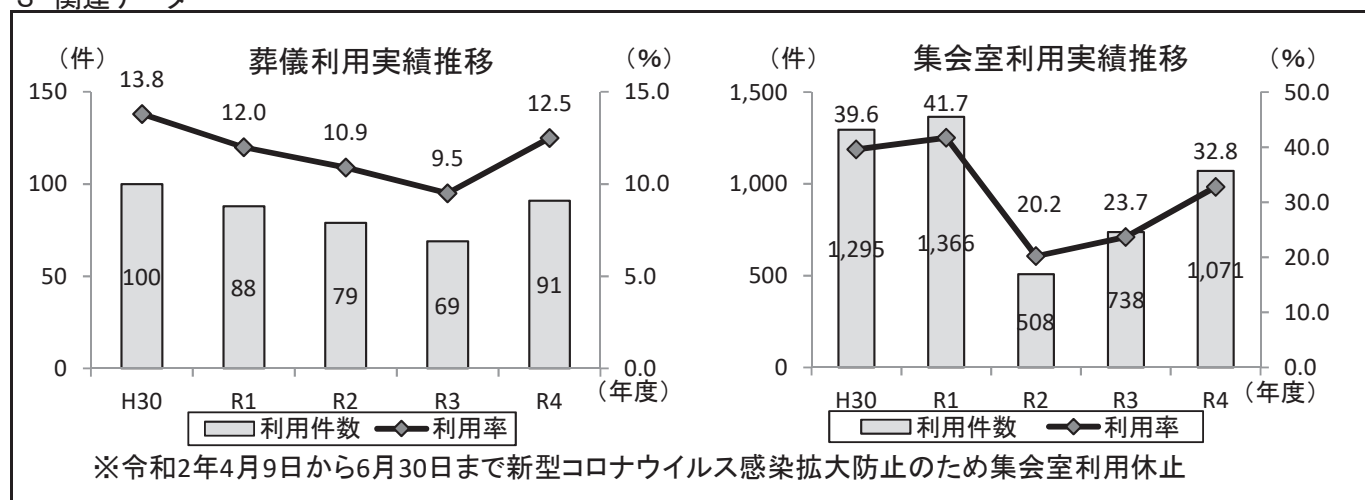
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	147,960	158,062	10,102
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	331,255,656	331,255,656	0	特別区債	0	0	0
建物	816,896,795	795,399,512	△21,497,283	退職給与引当金	2,229,463	2,114,023	△115,440
工作物	4,468,140	4,026,735	△441,405	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	2,377,423	2,272,085	△105,338
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,150,243,168	1,128,409,818	△21,833,350
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,152,620,591	1,130,681,903	△21,938,688
資産の部 合計	1,152,620,591	1,130,681,903	△21,938,688				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・浜町集会施設 795,399,512円	決算額の 主な内訳	・浜町集会施設敷地 331,255,656円
主な 増減理由	・浜町集会施設減価償却による減 △21,497,283円	主な 増減理由	・増減なし

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・浜町集会施設現場打ち側溝 2,565,684円 ・浜町集会施設縁石 1,033,416円 ・浜町集会施設車路フェンス 427,635円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・浜町集会施設車路フェンス減価償却による減 △222,105円 ・浜町集会施設現場打ち側溝減価償却による減 △156,332円 ・浜町集会施設縁石減価償却による減 △62,968円	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・今後、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。
 ・コロナ禍における新しい生活様式を踏まえ、令和4年8月より集会室にWi-Fiを設置した。
 ・葬儀利用件数は毎年減少していたが、令和4年度はコロナ禍以前の水準に戻りつつある。
 ・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により集会室の利用を一時休止した。そのため利用件数は大幅に減少したが、ウィズコロナに向けた社会状況の変化に伴い、令和3年度以降、回復傾向にある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続していく。また、必要に応じた修繕等を行っていくことにより、コミュニティ活動の場の提供を行っていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	地域コミュニティルームの管理運営	中事業2	地域コミュニティルームの改修	中事業3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (地域振興課)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会やさまざまな地域団体の活動を活性化するため、一定地域内の各団体が自由に利用できる自主管理型施設として、地域コミュニティルームを整備する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

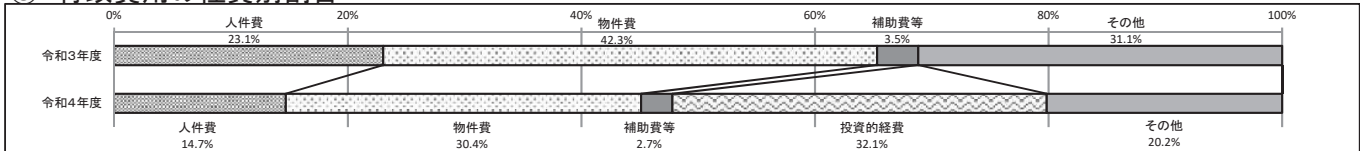
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,045,469	3,005,723	△39,746	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	5,584,544	6,220,079	635,535		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	466,600	545,600	79,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	6,555,824	6,555,824		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	3,764,071	3,764,071	0		その他	272,505	373,817	101,312
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		272,505	373,817	101,312
	賞与・退職給与引当金繰入額	350,901	357,395	6,494	行政収支差額		△12,939,080	△20,074,875	△7,135,795
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
	小 計	13,211,585	20,448,692	7,237,107	通常収支差額		△12,939,080	△20,074,875	△7,135,795
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△12,939,080	△20,074,875	△7,135,795
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		9,246,934	16,402,055	7,155,121
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△3,692,146	△3,672,820	19,326

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・京橋プラザ分庁舎中央監視システム取替工事 5,918,000円 ・ハイクセンター等複合施設冷暖房設備改修工事 637,824円	決算額の主な内訳	・コミュニティルームトイレ清掃等委託 4,941,082円
主な増減理由	・京橋プラザ分庁舎中央監視システム取替工事による工事費皆増 5,918,000円 ・ハイクセンター等複合施設冷暖房設備改修工事による工事費皆増 637,824円	主な増減理由	・ハイクセンター等複合施設管理業務委託料増 395,329円 ・複合施設電気等使用実績増による光熱水費増 241,484円

勘定科目	補助費等	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・湊、築地あかつきコミュニティルーム管理運営事業助成金 428,000円 ・新川コミュニティルーム共益費 117,600円	決算額の主な内訳	・光熱水費(京華コミュニティルーム) 279,229円 ・共益費(湊コミュニティルーム) 94,588円
主な増減理由	・コミュニティルーム管理運営に係る助成金増 79,000円	主な増減理由	・京華コミュニティルームにおける光熱水費増 88,654円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	147,960	158,062	10,102
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	88,256,412	102,411,517	14,155,105	退職給与引当金	2,229,463	2,114,023	△115,440
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	2,377,423	2,272,085	△105,338
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	85,878,989	100,139,432	14,260,443
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	88,256,412	102,411,517	14,155,105
資産の部 合計	88,256,412	102,411,517	14,155,105				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム 84,492,340円 ・京華コミュニティルーム(機械設備) 17,919,176円 ・京華コミュニティルーム(S4年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・京華コミュニティルーム機械設備の更新による皆増 17,919,176円 ・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム減価償却による減 △3,764,071円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

京橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
京橋プラザコミュニティルーム	平成11年7月	463.3
湊コミュニティルーム	平成10年4月	195.95
築地あかつきコミュニティルーム	平成7年4月	101.58
京華コミュニティルーム	平成13年1月	458.37
新川コミュニティルーム	平成7年7月	57.00

4 総括

① 現状・成果・課題

・コミュニティルームは、管理運営委員会が自主管理し、町会・自治会や地域団体等の会合や行事などで活用され、地域活動の場としての役割を担っている。令和4年度は、昨年度に比べて地域団体等の会合や行事が増加したことにより、施設の利用件数は回復傾向にある。一方で、光熱水費の高騰によって維持管理運営費が増加するなど、運営資金面では厳しい状況にある。

・令和4年度は、京華コミュニティルームの冷暖房設備の改修工事等を行った。京橋地域内5カ所のコミュニティルームにおいては、経年劣化が進んでいるため、今後も計画的に改修工事等を行う必要がある。

・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、新型コロナウイルス感染症感染拡大による施設の一時休止や利用制限等で利用件数の大幅な減少が見られた。こうした中でも、利用案内チラシを区施設に配架するなど、コミュニティルームの周知に取り組み、利用件数はウィズコロナへの社会状況の変化とも相まって、回復傾向にある。

② 今後の方向性

・コミュニティルームが、より多くの地域住民や団体に認知され活用されるよう管理運営委員会の周知活動を支援する。また、光熱水費については今後の動向を注視しつつ、各管理運営委員会の状況を確認し、必要に応じて支援していく。

・計画的に施設の改修工事等を行うにあたり、京橋地域内5カ所のコミュニティルームの劣化状態を把握し施設管理者や庁内関係部署と情報共有することで、地域活動の場を継続的に確保していく。

・国や東京都の動向を注視し、新型コロナウイルスとの共存を図りながら、活発なコミュニティ活動を支援するため、コミュニティルーム等の交流・活動の場を提供していく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	晴海地域交流センターの維持管理	中事業2	晴海地域交流センターの整備 (温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」のリニューアル工事)	中事業3	
晴海地域交流センター管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民の生活様式の変化や価値観の多様化に伴う地域課題の複雑化に加え、晴海地区に新たなまちができることを踏まえて、地域における自主的な交流を促進するとともに、地域課題を解決するため、温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」をリニューアルし、地域住民等が連携して行う地域活動の総合的な拠点として晴海地域交流センター「はるみらい」を開設する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

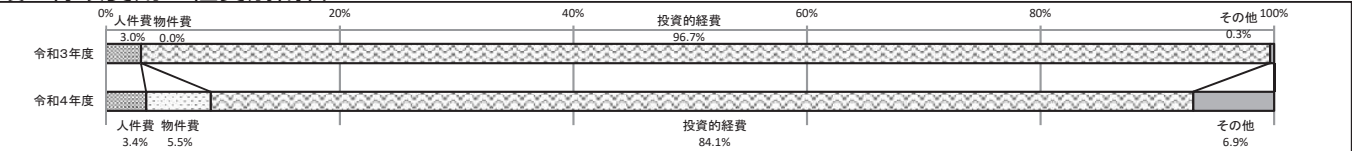
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	8,375,040	15,780,052	7,405,012	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	6,419	25,438,135	25,431,716		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	271,122,574	386,921,125	115,798,551		使用料及び手数料	0	1,128,528	1,128,528
	減価償却費	0	30,008,201	30,008,201		その他	0	2,458,244	2,458,244
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	3,586,772	3,586,772
	賞与・退職給与引当金繰入額	964,979	1,876,323	911,344	行政収支差額		△280,469,012	△456,437,064	△175,968,052
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		280,469,012	460,023,836	179,554,824	通常収支差額		△280,469,012	△456,437,064	△175,968,052
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△280,469,012	△456,437,064	△175,968,052
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		280,666,805	426,907,930	146,241,125
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		197,793	△29,529,134	△29,726,927

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・中央区立温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設大規模改修工事 262,870,000円 ・中央区立温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設大規模改修工事(建築・機械・電気・追加工事) 45,599,400円	決算額の主な内訳	・光熱水費 7,316,417円 ・維持管理委託料 18,021,719円
主な増減理由	・大規模改修工事(追加工事)による工事費の皆増 45,599,400円 ・大規模改修工事(貫通通路工事)による工事費の皆増 29,993,000円	主な増減理由	・所管換えによる光熱水費の皆増 7,316,417円 ・所管換えによる維持管理委託料の皆増 18,021,719円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	・目的外使用料(携帯基地局2局) 1,128,528円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・所管換えによる皆増 1,128,528円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	406,891	829,823	422,932
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	723,792,655	723,792,655	特別区債	0	0	0
工作物	0	20,524,483	20,524,483	退職給与引当金	6,131,024	11,098,621	4,967,597
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	6,537,915	11,928,444	5,390,529
建設仮勘定	803,444,000	1,734,863,000	931,419,000	正味財産の部合計	796,906,085	2,467,251,694	1,670,345,609
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	803,444,000	2,479,180,138	1,675,736,138
資産の部 合計	803,444,000	2,479,180,138	1,675,736,138				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建設仮勘定	勘定科目	建物
決算額の 主な内訳	・中央区立温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設 大規模改修工事 1,734,863,000円	決算額の 主な内訳	・温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」建物 723,792,655円
主な 増減理由	・中央区立温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」等複合施設 大規模改修工事費の増 931,419,000円	主な 増減理由	・所管換えによる皆増 723,792,655円
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

【晴海地域交流センター「はるみらい」施設概要】

○開設時期(予定)
令和5年12月

○所在地
中央区晴海5-2-3

○敷地面積
約29,700㎡(中央清掃工場の敷地を含む)

○延床面積
4,560.7㎡

○構造・規模
鉄筋コンクリート(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造

	改修前(リニューアル前)	改修後(リニューアル後)
フロア	主な機能	
屋上	庭園、ジャブジャブ池	屋上運動スタジオ(球技用コート)、屋上キッズスタジオ(子どもの遊び場)、フリースペース など
3階	温浴施設	トレーニングスタジオ(トレーニングルーム、フィットネスルーム、シャワーステーション)、音楽スタジオ、工作スタジオ など
2階	集会室(会議室)、和室、レストラン	集会室(会議室)、学習スタジオ(学習スペース)、料理スタジオ、レストラン など
1階	駐車場	ホール(地域活動、イベント、展示スペースなどに活用) ※地上駐車場あり

【晴海地域交流センター「はるみらい」整備スケジュール】

令和元年度
令和2年度
令和3年度～令和5年度
令和5年12月

基本設計
実施設計
リニューアル工事
開設(予定)





4 総括

① 現状・成果・課題

・令和元年度は、基本設計の検討においてワークショップを行い、施設設計について意見を伺い、区として基本設計の方針をまとめた。

・令和2、3年度は、晴海コミュニティ構想検討会議の分科会を設立し、基本設計に基づいた施設の運営における地域の方々の関わり方について協議を行い、地域住民等の意見をリニューアルに反映させている。なお、施設は令和3年11月より大規模改修工事に着手しており、令和5年12月に開設予定である。

・令和4年度は、本施設の円滑な運営を図るため、地域住民、地元企業等で構成される晴海地域交流センター運営協議会を設立(令和4年7月1日)したほか、令和5年3月に指定管理者として晴海コミュニティリード共同事業体(株式会社JTBコミュニケーションデザイン、コナミスポーツ株式会社)を選定した。また、令和5年1月に施設愛称名を公募し、194件の応募の中から晴海地域交流センター運営協議会と協議の上、「はるみらい」とした。

② 今後の方向性

晴海地域交流センター「はるみらい」を地域活動の総合的な拠点として地域住民と地元企業等と共に運営していく。令和5年12月の開設に向けて、施設の運営に必要な備品等を整備するとともに、晴海地域交流センター運営協議会、指定管理者、区の三者で連携し、開設準備等について協議を行っていく。また、開設後についても、三者で連携しながら、定期的に施設の運営などについて意見交換を行っていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部日本橋特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	日本橋特別出張所の管理運営	中事業2	日本橋特別出張所の改修	中事業3	
日本橋特別出張所 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・日本橋地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。
- ・日本橋特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を図り、公務の円滑かつ適正な運営を確保する。
- ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

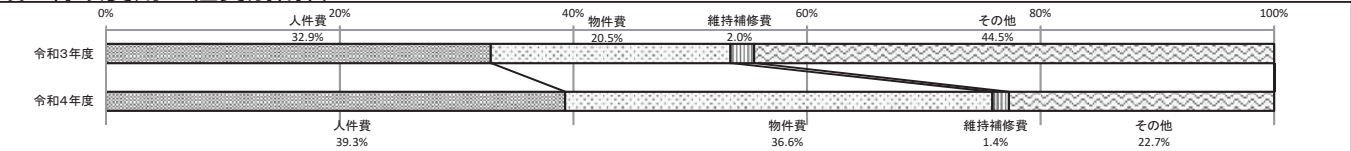
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	54,007,414	53,691,999	△315,415	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	33,644,384	49,971,091	16,326,707		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	3,295,072	1,926,507	△1,368,565		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	48,950,000	0	△48,950,000		使用料及び手数料	1,132,500	1,148,700	16,200
	減価償却費	17,733,050	24,695,129	6,962,079		その他	31,834	48,777	16,943
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	1,164,334	1,197,477	33,143
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,316,231	6,343,761	27,530		行政収支差額	△162,781,817	△135,431,010	27,350,807
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		163,946,151	136,628,487	△27,317,664	通常収支差額		△162,781,817	△135,431,010	27,350,807
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△162,781,817	△135,431,010	27,350,807
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		146,343,409	112,355,584	△33,987,825
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△16,438,408	△23,075,426	△6,637,018

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・建物維持管理業務委託 25,884,444円 ・光熱水費 13,741,086円	決算額の主な内訳	・日本橋公会堂1号機冷却水ポンプ分解整備工事 548,537円 ・冷却水系配管修繕工事 190,410円
主な増減理由	・人件費等増による維持管理業務委託の増 7,505,523円 ・使用料実績の増による光熱水費の増 7,469,747円	主な増減理由	・補修工事実績減による維持補修費の減 △1,368,565円

勘定科目	投資的経費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,148,700円
主な増減理由	・自動火災報知設備受信機取替工事の皆減 △48,950,000円	主な増減理由	・納税証明等手数料実績増による手数料の増 16,200円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

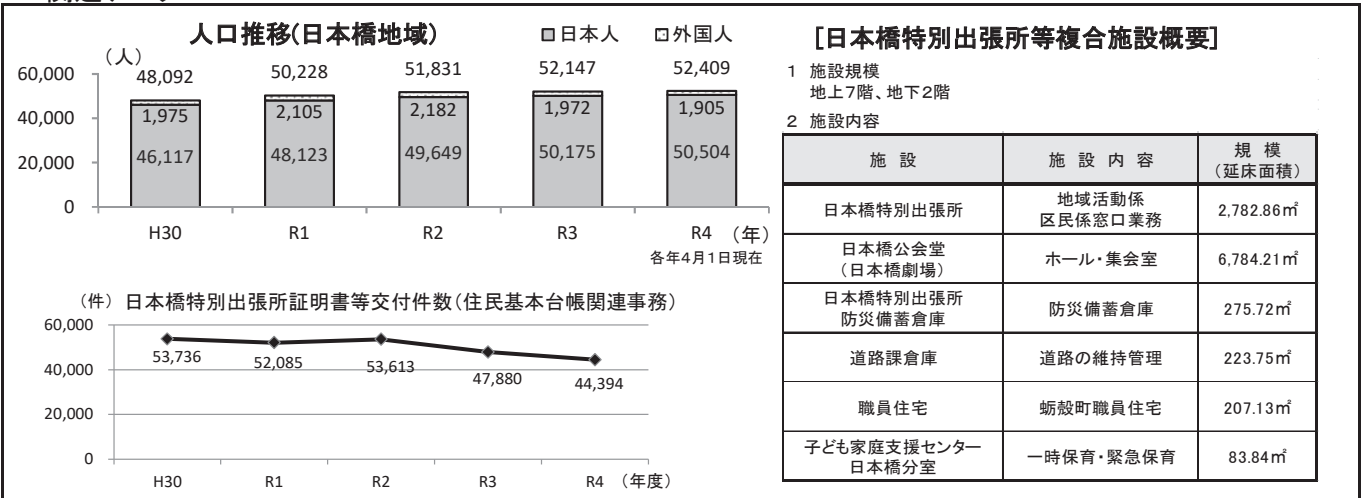
(単位:円)

勘定科目				勘定科目			
		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A			差額 B-A
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	還付未済金	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0
	その他	0	0	0		賞与引当金	2,663,283
固定資産	土地	66,356,466	66,356,466	0	固定負債	その他	0
	建物	459,038,520	621,791,451	162,752,931		特別区債	0
	工作物	7,079,452	6,658,477	△420,975		退職給与引当金	40,130,342
	重要物品	0	0	0	負債の部合計	その他	0
	インフラ資産	0	0	0		正味財産の部合計	592,286,613
	建設仮勘定	102,605,800	109,386,200	6,780,400		負債・正味財産の部合計	635,080,238
	その他	0	0	0			
資産の部 合計		635,080,238	804,192,594	169,112,356			

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
建物		建設仮勘定	
決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所 621,791,451円	決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設大規模改修実施設計業務委託 109,386,200円
主な 増減理由	・道路事務所移転に伴う所管換えによる増 162,752,931円	主な 増減理由	・追加設計業務委託の増 6,780,400円
土地		工作物	
決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設敷地 66,356,466円	決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所モニュメント 2,469,824円 ・日本橋特別出張所スリット型排水溝 2,755,956円
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	・日本橋特別出張所工作物の減価償却による減 △420,975円

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・日本橋特別出張所等複合施設の大規模改修について、令和5年度からの実施に向けて準備を行った。
- ・大規模改修工事を想定した修繕の優先順位を検討しながら維持管理を行い、施設の日常使用の安全確保に努めた。
- ・施設設備の経年劣化は進行しており、大規模改修による設備の機能更新が完了するまでは、日常の保守点検をきめ細かく実施していく必要がある。
- ・窓口業務におけるキャッシュレス決済導入に向けて検討を進めた。

② 今後の方向性

- ・大規模改修にあたり複合施設内の施設主管課および日本橋公会堂の指定管理者等と情報共有を図りながら改修工事が滞りなく進むよう調整をしていく。
- ・区民窓口業務におけるキャッシュレス決済導入を行っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大 事 業	中 事 業 1	自 治 振 興 事 務	中 事 業 2		中 事 業 3	
自治振興事務 (日本橋特別出張所)	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

- ・日本橋地域におけるコミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。
- ・区内の町会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

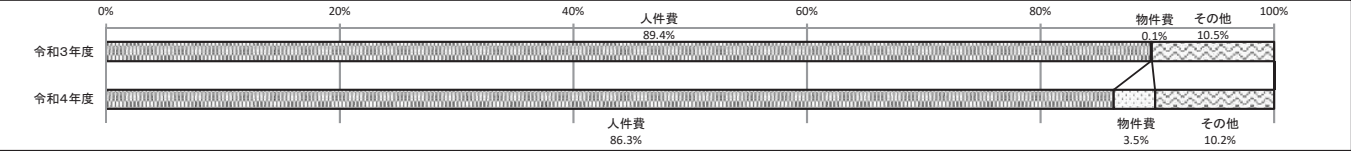
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	6,750,926	8,318,479	1,567,553	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	7,050	341,422	334,372		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	789,529	982,836	193,307	行政収支差額		△7,547,505	△9,642,737	△2,095,232
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		7,547,505	9,642,737	2,095,232	通常収支差額		△7,547,505	△9,642,737	△2,095,232
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△7,547,505	△9,642,737	△2,095,232
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		7,709,335	9,893,678	2,184,343
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		161,830	250,941	89,111

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・行政懇談会会場使用料 204,820円 ・行政懇談会に伴う記念品の購入 87,360円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・行政懇談会開催による会場使用料等の皆増 334,372円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	332,910	434,669	101,759
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	5,016,293	5,813,563	797,270
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	5,349,203	6,248,232	899,029
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△5,349,203	△6,248,232	△899,029
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績（日本橋地域）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
団体数（団体）	68	68	68	68	68
出席団体数（団体）	43	45	※	※	36
出席率（％）	63.2	66.2	※	※	52.9

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

4 総括

① 現状・成果・課題

・日本橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催であったが、令和4年度は3年ぶりの通常開催となった。

・行政懇談会は、町会長から直接意見をいただく場として重要な役割を果たしているため、引き続き通常の形式で実施していく必要がある。

・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会との連携の円滑化を図っている。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により2年間対面での行政懇談会を開催できなかったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の沈静化とともに感染症予防対策を講じることで開催することができた。また、コミュニティ連絡相談員はコロナ禍においてもできる限り町会との対面や電話でのコミュニケーションに努めることで地域の現状や課題などを把握することができた。

② 今後の方向性

・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化を支援するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベント開催への支援を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

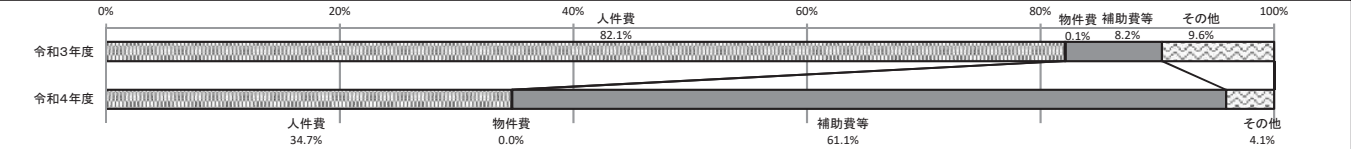
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	7,501,030	6,049,803	△1,451,227	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	7,833	7,427	△406		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	754,000	10,649,000	9,895,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	877,255	714,790	△162,465		行政収支差額	△9,140,118	△17,421,020	△8,280,902
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
小 計		9,140,118	17,421,020	8,280,902		通常収支差額	△9,140,118	△17,421,020	△8,280,902
特別費用		0	0	0		当期収支差額	△9,140,118	△17,421,020	△8,280,902
特別収入		0	0	0		一般財源充当調整	9,319,929	17,603,522	8,283,593
特別収支差額		0	0	0		再計(一般財源調整後)	179,811	182,502	2,691

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成 7,595,000円 ・地域の盆おどりに対する助成 3,054,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・地域手づくりイベントおよび地域の盆おどりの実績増による助成金の増 9,895,000円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	369,900	316,123	△53,777
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	5,573,659	4,228,046	△1,345,613
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	5,943,559	4,544,169	△1,399,390
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△5,943,559	△4,544,169	1,399,390
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—
—	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数（日本橋）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象団体数（団体）	68	68	68	68	68
助成団体数（団体）	55	52	1	4	37
助成割合（％）	80.9	76.5	1.5	5.9	54.4
助成件数（件）	81	77	1	5	50

地域盆おどり大会助成件数（日本橋）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
助成件数（件）	26	26	0	0	15

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績なし

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため地域の手づくりイベント及び盆おどりの開催に対し、助成を行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの手づくりイベントや盆おどり大会の開催であった。少しずつではあるがコロナ禍前の状況に戻りつつあり、まちに活気が出てきている。

・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてイベント開催を差し控える状況もあったが、区民が地域でふれあい交流するきっかけをつくることの一助となった。

② 今後の方向性

・町会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を高めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。

・ポストコロナの状況を踏まえ、より一層町会と連携しながら、地域のイベント等を支援していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域コミュニティルーム管理運営	中事業2	地域コミュニティルームの改修	中事業3	
地域コミュニティルーム管理事業 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・日本橋地域の町会活動の円滑化を促進し、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、町会等が共同で自由に利用できる自主管理型施設である地域コミュニティルームの施設管理を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

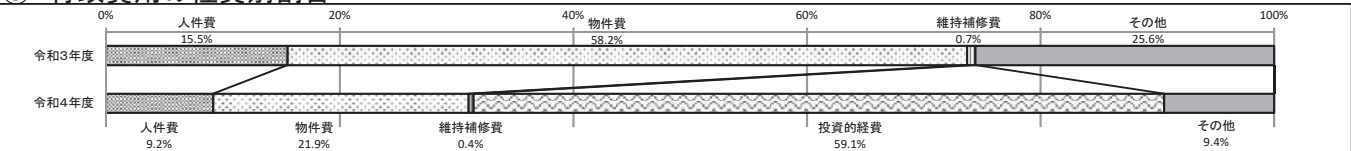
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,250,309	3,781,127	1,530,818	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	8,431,668	9,023,136	591,468		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	103,620	178,200	74,580		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	24,387,000	24,387,000		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	3,444,398	3,444,398	0		その他	53,224	90,577	37,353
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	53,224	90,577	37,353
	賞与・退職給与引当金繰入額	263,177	446,744	183,567		行政収支差額	△14,439,948	△41,170,028	△26,730,080
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0	0
	小 計	14,493,172	41,260,605	26,767,433		通常収支差額	△14,439,948	△41,170,028	△26,730,080
	特別費用	0	0	0		当期収支差額	△14,439,948	△41,170,028	△26,730,080
	特別収入	0	0	0		一般財源充当調整	11,049,493	37,839,693	26,790,200
	特別収支差額	0	0	0		再計(一般財源調整後)	△3,390,455	△3,330,335	60,120

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・十思スクエア本館外壁および防水改修工事 24,387,000円	決算額の主な内訳	・光熱水費 2,571,737円 ・浜町コミュニティルーム賃借料 1,784,332円 ・地域コミュニティルーム警備委託 1,235,520円
主な増減理由	・十思スクエア本館外壁および防水改修工事の皆増 24,387,000円	主な増減理由	・使用実績増による光熱水費の増 565,960円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム男子トイレ小便器漏水補修工事 178,200円	決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム電気料 90,577円
主な増減理由	・補修工事实績増による維持補修費の増 74,580円	主な増減理由	・十思コミュニティルーム電気料実績増による行政収入の増 37,353円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	110,970	197,577	86,607
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	56,732,131	53,287,733	△3,444,398	退職給与引当金	1,672,098	2,642,529	970,431
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	1,783,068	2,840,106	1,057,038
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	54,949,063	50,447,627	△4,501,436
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	56,732,131	53,287,733	△3,444,398
資産の部 合計	56,732,131	53,287,733	△3,444,398				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・箱崎町コミュニティルーム 30,040,479円 ・中洲コミュニティルーム 15,036,897円 ・浜町コミュニティルーム 8,210,356円 ・十思コミュニティルーム 1円(S24竣工)	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・地域コミュニティルームの減価償却による減 △3,444,398円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

日本橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
箱崎町コミュニティルーム	平成6年11月	183.19
浜町コミュニティルーム	平成6年12月	97.2
中洲コミュニティルーム	平成7年10月	126.44
十思コミュニティルーム	平成13年1月	201.6

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会の自主管理のもと、コロナ禍においても、感染症防止対策を講じながら町会等の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会活動の促進、地域コミュニティ醸成に寄与することができている。

・日本橋地域コミュニティルームの経年劣化が進んでおり、施設を効率的かつ安定的に使用できる状態を保つため、関係部署と施設状況の情報を共有するとともに、施設を管理する町会からの意見や情報等も収集しながら適切な維持管理を図っていく必要がある。

・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、施設を安定的に提供することで地域のコミュニティ活動支援に寄与した。

② 今後の方向性

・施設の状況を正確に把握することで改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。

・コミュニティルームの運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会等の活動の場を提供していく。

・施設の維持管理にあたっては、利用の妨げにならぬよう、修繕工事や保守点検などの日程調整を綿密に行うなど配慮する必要がある。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部日本橋特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	日本橋公会堂の管理運営	中事業2		中事業3	
日本橋公会堂 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民の文化の向上と福祉の増進に寄与するため、ホール(日本橋劇場)と集会室の貸出および維持管理に関する業務を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

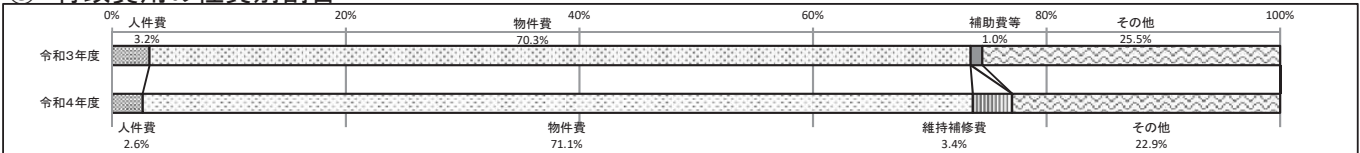
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	7,501,030	6,806,029	△695,001	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	164,609,835	184,868,476	20,258,641		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	8,778,000	8,778,000		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	2,349,500	0	△2,349,500		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	58,843,175	67,681,970	8,838,795
	減価償却費	58,851,443	58,851,443	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		58,843,175	67,681,970	8,838,795
	賞与・退職給与引当金繰入額	877,255	804,138	△73,117	行政収支差額		△175,345,888	△192,426,116	△17,080,228
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		234,189,063	260,108,086	25,919,023	通常収支差額		△175,345,888	△192,426,116	△17,080,228
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△175,345,888	△192,426,116	△17,080,228
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		116,674,256	133,779,988	17,105,732
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△58,671,632	△58,646,128	25,504

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・指定管理料 76,719,258円 ・光熱水費 30,509,871円	決算額の主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設ワイヤレスマイクシステム改修工事 8,778,000円
主な増減理由	・人件費等増による指定管理料の増 7,727,516円 ・使用実績の増による光熱水費の増 11,580,248円	主な増減理由	・日本橋特別出張所等複合施設ワイヤレスマイクシステム改修工事の皆増 8,778,000円

勘定科目	補助費等	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	・日本橋公会堂使用料 67,681,970円
主な増減理由	・日本橋公会堂使用料還付金の皆減 △2,349,500円	主な増減理由	・日本橋公会堂利用実績増による使用料の増 8,838,795円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

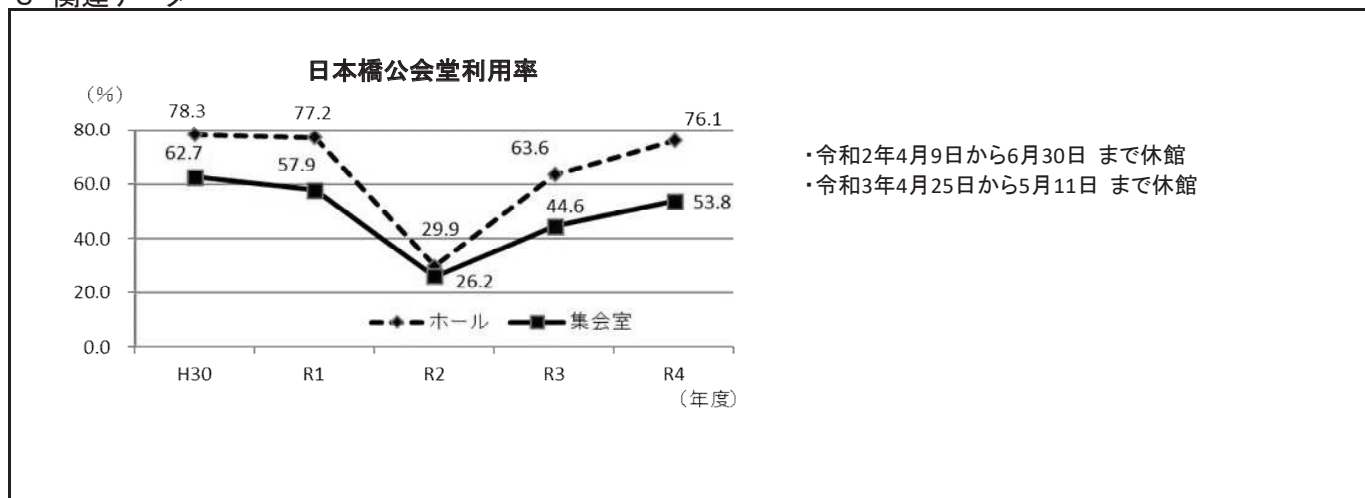
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	369,900	355,638	△14,262
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	1,574,138,982	1,515,837,539	△58,301,443	退職給与引当金	5,573,659	4,756,552	△817,107
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	4,400,017	3,850,017	△550,000	負債の部合計	5,943,559	5,112,190	△831,369
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	1,572,595,440	1,514,575,366	△58,020,074
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	1,578,538,999	1,519,687,556	△58,851,443
資産の部 合計	1,578,538,999	1,519,687,556	△58,851,443				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	重要物品
決算額の 主な内訳	・日本橋公会堂 1,515,837,539円	決算額の 主な内訳	・ピンスポットライト2台 3,080,000円 ・花道用ピンスポットライト 770,000円
主な 増減理由	・日本橋公会堂建物の減価償却による減 △58,301,443円	主な 増減理由	・ピンスポットライトの減価償却による減 △550,000円
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・日本橋公会堂は、平成11年開設から20年以上経過している。ホールは、定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、舞台装置等を含めた各種装置・構成部品に経年劣化が見られるものが多く、令和4年度は、特に空調設備機器の不具合が目立った。

・区民施設として貸し出すにあたり、日常の点検や修繕を徹底し施設の安全向上に努めた。

・日本橋特別出張所等複合施設の大規模改修について令和6年度からの実施に向けて準備を行った。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一時休館をした。令和2年度に利用実績が落ち込んだが、令和3年度から新型コロナウイルス感染症の沈静化とともに感染症予防対策を講じながらの運営によりコロナ禍前に近い利用実績までに回復してきている。

② 今後の方向性

・大規模改修までの間、日常使用の不具合や事故を未然に防ぐため、必要な修繕を行っていく。

・大規模改修にあたり日本橋公会堂の指定管理者と情報共有を図りながら改修工事が滞りなく進むよう調整していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	月島特別出張所の管理運営	中事業2		中事業3	
月島特別出張所 管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・月島地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。
- ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

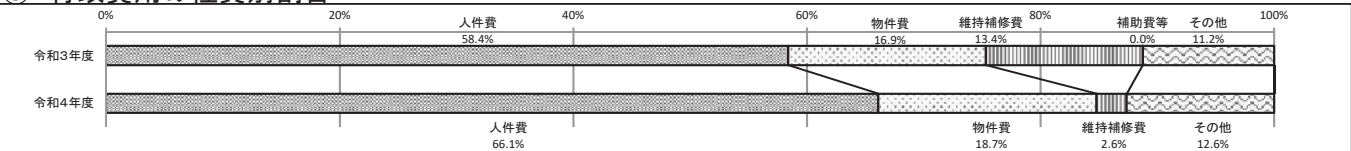
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	75,579,312	77,940,823	2,361,511	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	21,893,206	22,032,627	139,421		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	17,403,298	3,040,290	△14,363,008		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	17,100	0	△17,100		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	1,650,000	1,622,700	△27,300
	減価償却費	5,674,766	5,674,766	0		その他	28,517	39,770	11,253
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		1,678,517	1,662,470	△16,047
	賞与・退職給与引当金繰入額	8,860,268	9,202,922	342,654	行政収支差額		△127,749,433	△116,228,958	11,520,475
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
	小 計	129,427,950	117,891,428	△11,536,522	通常収支差額		△127,749,433	△116,228,958	11,520,475
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△127,749,433	△116,228,958	11,520,475
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		123,890,762	112,903,901	△10,986,861
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△3,858,671	△3,325,057	533,614

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・施設維持管理等業務委託 14,435,147円 ・光熱水費 3,799,912円	決算額の主な内訳	・自動ドア駆動装置取替工事 704,000円 ・自家発電設備用蓄電池交換工事 586,300円 ・タイル補修工事 330,000円
主な増減理由	・電気・ガス料金の高騰による光熱水費の増 1,122,876円 ・レイアウト変更に伴う机椅子等購入費の皆減 △1,090,100円	主な増減理由	・非常照明用蓄電池取替工事の皆減 △5,324,000円 ・吸収式冷温水発生機整備工事の皆減 △4,840,000円 ・警備室空調設備改修工事の皆減 △1,254,000円

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,622,700円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・納税証明等発行件数減による手数料減 △27,300円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

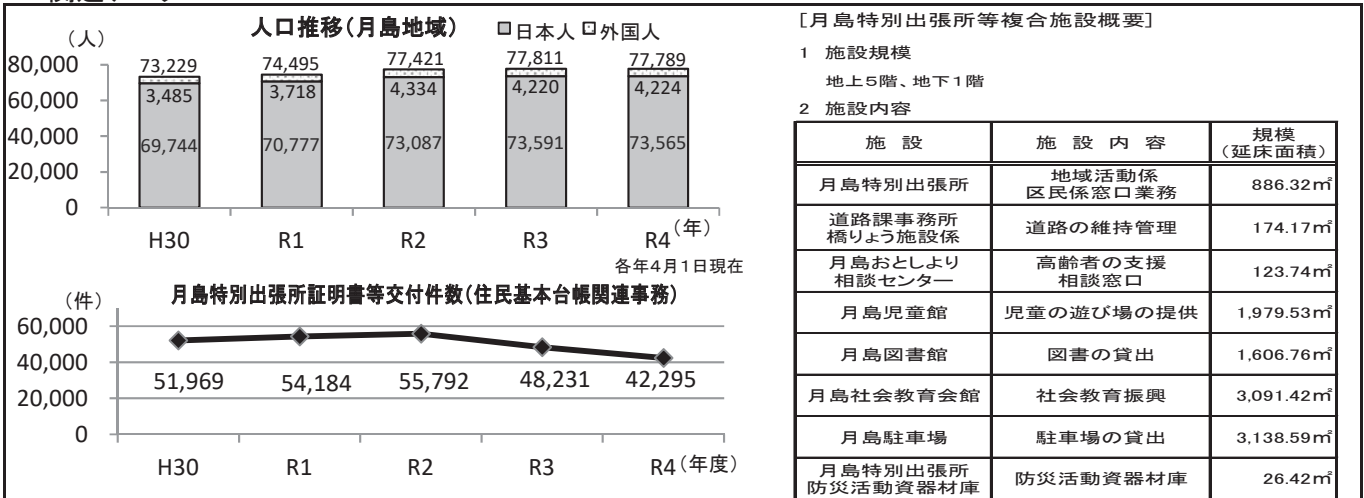
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	3,735,995	4,070,085	334,090
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	937,650	937,650	0	特別区債	0	0	0
建物	59,704,498	55,983,159	△3,721,339	退職給与引当金	56,293,951	54,436,094	△1,857,857
工作物	13,807,890	11,854,463	△1,953,427	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	60,029,946	58,506,179	△1,523,767
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	14,420,092	10,269,093	△4,150,999
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	74,450,038	68,775,272	△5,674,766
資産の部 合計	74,450,038	68,775,272	△5,674,766				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・月島特別出張所 55,079,575円 ・月島特別出張所等複合施設自転車置き場(3カ所) 903,584円	決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備 7,202,180円 ・月島特別出張所時計塔設備 3,206,385円 ・月島特別出張所時計塔廻り設備 756,800円
主な 増減理由	・月島特別出張所等減価償却による減 △3,721,339円	主な 増減理由	・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備等減価償却による減 △1,953,427円
勘定科目	土地	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等敷地 937,650円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・増減なし	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・月島特別出張所は、昭和63年の竣工から30年以上が経過し、建物および設備の老朽化が進んでいることから、毎年、維持補修工事・小破修理が多く発生している。また、物価高騰の影響もあり今後、建物維持管理に係る経費が増加することが予想される。

・月島地域の人口は、HARUMI FLAGの入居を皮切りに、今後も大規模住宅の入居が続くことから増加傾向になることが見込まれている。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少していた窓口利用件数もコロナ収束後は増加が見込まれる。

・今後、増加する利用者や多様化する窓口サービスに対して効率的かつ迅速に対応していくため、マイナンバーカードの活用範囲の拡大を進めるとともにキャッシュレス決済導入等デジタル技術も併せて活用していく必要がある。

② 今後の方向性

・各設備の保守部品等の耐用年数を考慮し、常に点検等を丁寧実施することで、大規模な補修にいたるケースを未然に防ぎ経費の抑制および平準化を図りながら引き続き計画的な維持補修を行っていく。

・多様化する区民ニーズに対応するためマイナンバーカードの普及促進やデジタル技術を活用して行政サービスの向上を図っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	自治振興事務	中事業2	中事業3
自治振興事務 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・コミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。
・区内町会長及び自治会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

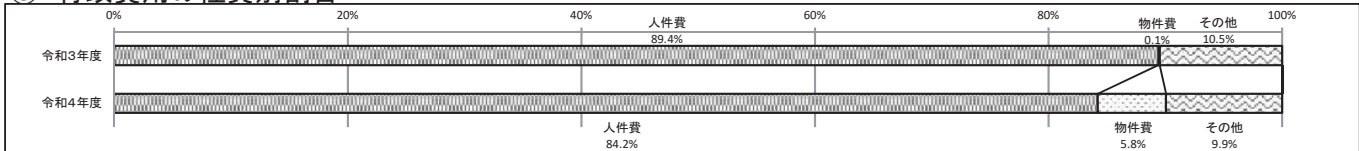
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,741,549	3,783,535	41,986	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	4,587	262,557	257,970		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	438,627	446,744	8,117	行政収支差額		△4,184,763	△4,492,836	△308,073
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		4,184,763	4,492,836	308,073	通常収支差額		△4,184,763	△4,492,836	△308,073
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△4,184,763	△4,492,836	△308,073
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		4,274,669	4,606,899	332,230
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		89,906	114,063	24,157

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・行政懇談会会場設営等委託 111,999円 ・行政懇談会記念品の購入 99,360円 ・音声ファイル反訳 24,750円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・令和3年度書面開催から令和4年度行政懇談会対面開催への変更に伴う会場設営等委託の皆増 111,999円 ・記念品購入および飲料代の皆増 116,817円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	184,950	197,577	12,627
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	2,786,829	2,642,529	△144,300
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	2,971,779	2,840,106	△131,673
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△2,971,779	△2,840,106	131,673
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(月島地域)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
団体数(団体)	45	45	46	46	46
出席団体数(団体)	35	36	※	※	32
出席率(%)	77.8	80.0	※	※	69.6

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

4 総括

① 現状・成果・課題

・月島地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催している。令和2年度、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催としたが、令和4年度は3年ぶりに通常開催となった。

・行政懇談会は、町会長や自治会長から直接意見をいただく場として重要な役割を果たしているため、引き続き、通常の形式で実施していく必要がある。

・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会・自治会との連携の円滑化を図っている。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により2年間対面での行政懇談会を開催できなかったが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の沈静化とともに感染症予防対策を講じることで開催することができた。また、コミュニティ連絡相談員はコロナ禍においてもできる限り町会との対面や電話でのコミュニケーションをとるように努めることで地域の現状や課題などを把握することができた。

② 今後の方向性

・行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会・自治会活動の活性化を支援するとともに、地域の意見・要望を的確に把握していく。

・令和6年から新たに入居が始まる晴海地区をはじめ、今後も月島地域において大規模住宅の入居が続けて予定されていることから自治会が結成されることが予想される。区として自治会結成の支援を行うとともに既存の町会や連合町会と新たなコミュニティの連携や共存など良好な関係が構築できるようサポートを行っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (月島特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベント開催への支援を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

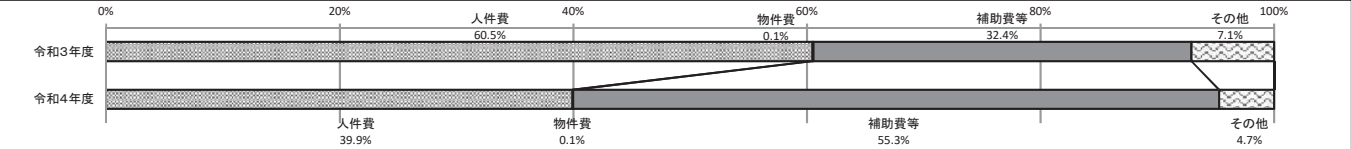
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,741,549	3,026,828	△714,721	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	4,587	4,399	△188		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	2,002,000	4,191,000	2,189,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	438,627	357,395	△81,232	行政収支差額		△6,186,763	△7,579,622	△1,392,859
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		6,186,763	7,579,622	1,392,859	通常収支差額		△6,186,763	△7,579,622	△1,392,859
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△6,186,763	△7,579,622	△1,392,859
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		6,276,669	7,670,873	1,394,204
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		89,906	91,251	1,345

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 4,191,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・地域手づくりイベント実績増による助成金の増 2,189,000円	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	184,950	158,062	△26,888
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	2,786,829	2,114,023	△672,806
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	2,971,779	2,272,085	△699,694
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△2,971,779	△2,272,085	699,694
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(月島)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象団体数(団体)	45	46	46	46	46
助成団体数(団体)	35	32	6	10	18
助成割合(%)	78	69.6	13	21.7	39.1
助成件数(件)	49	43	10	17	26

地域盆おどり大会助成件数(月島)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
助成件数(件)	4	23	※	※	※

※平成30年度は「住吉神社大祭(3年に1回開催)」開催年度のため実績減

※令和2、3、4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催実績なし

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会が主体となつて行う独自イベントの開催を促進するため、地域の手づくりイベントおよび盆おどりの開催に対し、助成を行っている。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、町会・自治会が開催方法や内容を工夫した結果、手づくりイベント助成は前年度に比べ徐々にではあるがコロナ禍前の状況に戻つつある。しかし、盆おどり助成については、3年連続開催の実績はなかった。

・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことで、手づくりイベントおよび盆おどりの開催が困難な時期が長く続き区民が地域でふれあい、交流する場を提供することが十分にできなかった。

② 今後の方向性

・町会・自治会が自主的に運営する地域独自のイベントや盆おどりの開催を継続的に支援することで、住民同士の連帯感を高めるとともに、新たに住民となった方の地域との交流の機会をつくることで、地域活動への参加を促し、地域全体の活性化につなげていく。

・ポストコロナの状況を踏まえ、より一層町会と連携しながら、地域のイベント等を支援していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大 事 業	中 事 業 1	地域コミュニティルームの管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
地域コミュニティ ルーム管理事業 (月島特別出張所)	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・町会・自治会活動の円滑化を促進し、地域コミュニティの活性化を図るため、一定地域内(連合町会単位)の複数の町会・自治会等が共同で自由に利用できる自主管理型施設である地域コミュニティルームの管理運営を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

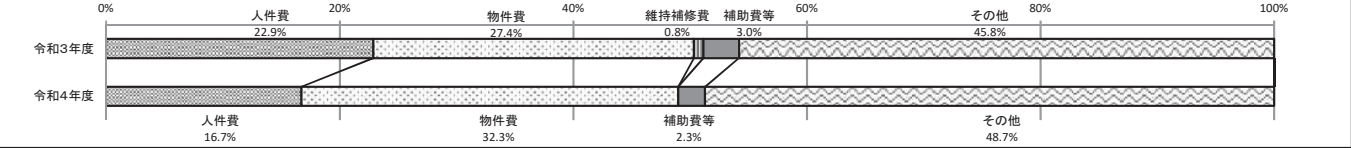
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,244,930	1,513,416	△731,514	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	2,692,819	2,921,784	228,965		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	81,180	0	△81,180		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	298,000	208,000	△90,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	4,232,609	4,232,609	0		その他	116,534	207,065	90,531
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		116,534	207,065	90,531
	賞与・退職給与引当金繰入額	263,177	178,699	△84,478	行政収支差額		△9,696,181	△8,847,443	848,738
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		9,812,715	9,054,508	△758,207	通常収支差額		△9,696,181	△8,847,443	848,738
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△9,696,181	△8,847,443	848,738
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		5,517,515	4,660,458	△857,057
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△4,178,666	△4,186,985	△8,319

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・施設維持管理委託 2,180,303円 ・光熱水費 534,709円	決算額の主な内訳	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営事業助成金 208,000円
主な増減理由	・電気・ガス料金の高騰および利用実績増による光熱水費の増 114,400円 ・空調保守点検等委託内容の変更による増 99,066円	主な増減理由	・月島清澄通りコミュニティルーム管理運営に係る助成金の減 △90,000円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・実績なし	決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム光熱水費立替分収入 207,065円
主な増減理由	・洋室扉修理工事の皆減 △81,180円	主な増減理由	・電気・ガス料金の高騰および使用量実績増による光熱水費の増 90,531円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	110,970	79,031	△31,939
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	80,727,650	76,495,041	△4,232,609	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	1,672,098	1,057,012	△615,086
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	1,783,068	1,136,043	△647,025
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	78,944,582	75,358,998	△3,585,584
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	80,727,650	76,495,041	△4,232,609
資産の部 合計	80,727,650	76,495,041	△4,232,609				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・勝どきコミュニティルーム 70,199,163円 ・月島清澄通りコミュニティルーム 6,295,878円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・勝どきコミュニティルームおよび月島清澄通りコミュニティルーム 減価償却による減 △4,232,609円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

月島地域コミュニティルーム

名称	開設年月	面積(㎡)
勝どきコミュニティルーム	平成7年12月	367
月島清澄通りコミュニティルーム	平成6年12月	145

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会の自主管理のもと、コロナ禍においても、感染症防止対策を講じながら町会・自治会等の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティ醸成に寄与することができている。

・月島地域コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、施設を効率的かつ安定的に使用できる状態を保つため、関係部署と施設状況の情報を共有するとともに、施設利用者からの意見や情報等も収集しながら、適切な維持管理を図っていく必要がある。

・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、施設を安定的に提供することで地域のコミュニティ活動支援に寄与した。

② 今後の方向性

・施設の現状を正確に把握することで、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効率的に改修を行っていく。

・コミュニティルームの運営に支障をきたすことがないよう、施設を最大限に活用できる状態を維持することで安定的に町会・自治会等の活動の場を提供していく。

・新型コロナウイルス感染症の影響で低下した利用率回復の妨げにならないようにするため、改修工事や安全点検などの日程調整を綿密に行い、利用可能日を多く確保する必要がある。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域文化活動の推進	中事業2	中事業3
地域文化活動の推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・まるごとミュージアムは、区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者等が行う文化イベントに参加し、本区の文化的な魅力(名所・旧跡、画廊・美術館、水辺等)を楽しみ享受できる一日となるよう実施している。

・まちかど展示館は、地域住民自らが文化資源を展示・公開する施設等の運営を支援している。また、まちかど展示館運営協議会を中心に、観光・文化資源として活用していくための取組を推進している。

・東京国際合唱コンクールは、区民が世界水準の合唱文化に触れ、国際交流を深めることで、本区の文化振興および生涯学習意欲の向上をより一層推進するため実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

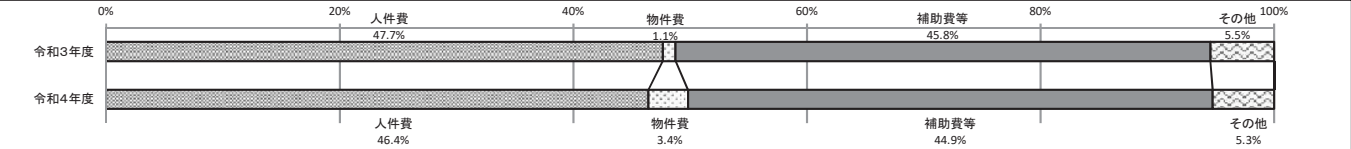
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	16,856,890	18,127,246	1,270,356	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	388,570	1,321,333	932,763		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	16,196,417	17,534,776	1,338,359		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	10,000	140,000	130,000
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		10,000	140,000	130,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,929,959	2,055,022	125,063	行政収支差額		△35,361,836	△38,898,377	△3,536,541
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		35,371,836	39,038,377	3,666,541	通常収支差額		△35,361,836	△38,898,377	△3,536,541
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△35,361,836	△38,898,377	△3,536,541
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		35,757,421	39,423,069	3,665,648
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		395,585	524,692	129,107

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・まちかど展示館運営協議会補助金 11,820,276円 ・東京国際合唱コンクール負担金 3,300,000円 ・まちかど展示館に係る施設管理運営費助成金 2,147,000円	決算額の主な内訳	・東京国際合唱コンクール記念品購入 427,744円 ・東京国際合唱コンクール開催によるオープニングコンサートおよびまちかどコンサート会場等使用料 733,790円
主な増減理由	・まちかど展示館ホームページ改修による協議会補助金増 1,086,500円 ・まちかど展示館に係る施設管理運営費助成金申請団体増等による助成金増 132,000円	主な増減理由	・昨年中止したまちかどコンサート開催による会場等使用料皆増 538,010円 ・東京国際合唱コンクール記念品購入数増等による購入費増 203,454円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・ふるさと納税による分野指定寄附金 140,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・ふるさと納税による分野指定寄附金増 130,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

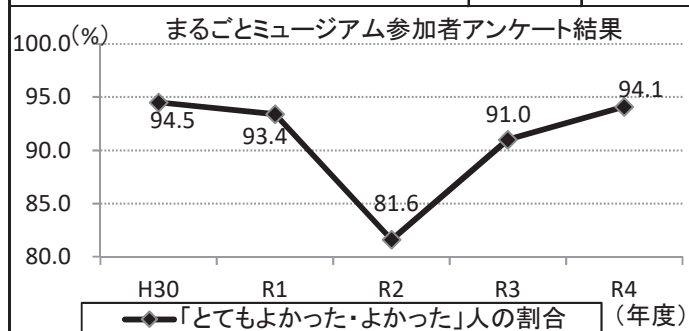
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	813,781	908,854	95,073
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	12,262,049	12,155,633	△106,416
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	13,075,830	13,064,487	△11,343
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△13,075,830	△13,064,487	11,343
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

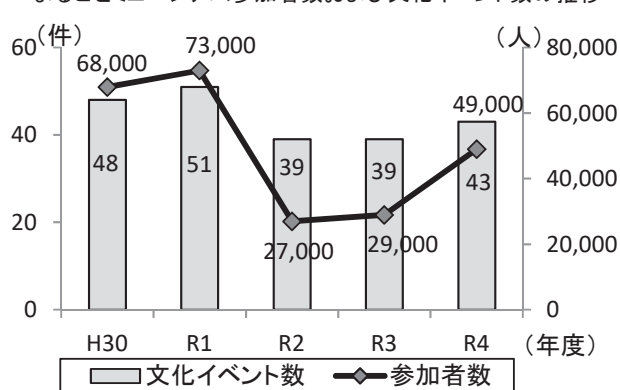
勘定科目	勘定科目
決算額の主な内訳	決算額の主な内訳
主な増減理由	主な増減理由

3 関連データ

項目	令和3年度	令和4年度
まちかど展示館認定件数・助成件数(件・件)	29・21	29・22
東京国際合唱コンクール延観覧者数(人) (入場チケット・ライブ配信チケット購入者数等)	1,491	2,067



まるとミュージアム参加者数および文化イベント数の推移



※R2・3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、例年より規模を縮小して開催したことによる文化イベント数および参加者数減

4 総括

① 現状・成果・課題

・まるとミュージアムの参加者数は増加し、参加者からは高い評価を得ており、区民が文化に触れる機会を提供することができている。令和4年度は、区内を循環する貸切バスおよび江戸バスの無料運行を再開し、区内各所で行われるイベントへのアクセスをしやすいとともに、周遊船の朝潮周遊コースを朝潮運河船着場と日本橋船着場とを行き来する片道コースに変更し、参加者の回遊性を高めた。今後も、多くの参加者が本区の豊かな文化に触れ、楽しむことができるよう、継続的に事業内容の充実を図っていく必要がある。

・「まちかど展示館」事業は、夏休みスタンプラリー&クイズ、お正月スタンプラリーおよび親子体験バスツアーを実施するとともに、銀座三越において、まちかど展示館集合イベント(令和元年度から実施)を開催し、老舗の逸品等の展示や実演・体験を行うなど地域の文化資源に触れる機会をつくり、地域への誇りや愛着心を育むことができている。また、令和4年5月にInstagramとツイッターを開設し、SNSを活用した情報発信を充実させ、幅広い世代への周知を図った。今後も、区民や観光客等への認知をより高めるため、まちかど展示館運営協議会を中心に各施設の周知方法を検討し、季刊誌やウェブサイトを活用した情報発信を行っていくとともに、回遊性をさらに高める取組を進めていく必要がある。

・東京国際合唱コンクールに参加する合唱団が区内の商業施設において、無料で合唱を披露するまちかどコンサートを開催し、コンクールのPRを行うとともに、区民にハイレベルな合唱を楽しんでもらうため、コンクールへの区民招待を行った。本事業は、観覧者から高い評価を得ており、コンクールの認知を高めるためより多くの区民が合唱に触れる機会を提供していく必要がある。

・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、まるとミュージアムは、コロナ禍においても感染症対策を講じて事業を実施し、参加者数は一時減少したものの増加傾向にあり、また、まちかど展示館の認定件数は、22件から29件と増加し、区民が本区の豊かな文化に触れ、楽しむ機会を提供し続けることができた。また、東京国際合唱コンクールは、コロナ禍で中止した年もあったが、区民招待者枠の拡大やライブ配信を行うなど、区民が合唱に触れる機会の拡充を図ることができた。

② 今後の方向性

・まるとミュージアムは、文化イベント数の拡充や内容の充実を図り、参加者の満足度向上に繋げていく。

・「まちかど展示館」事業については、「まちかど展示館運営協議会」での意見を踏まえ、集合イベントへの出展および実演・体験コーナーの実施を促すとともに、通年で実施しているスタンプラリーや子ども向けのスタンプラリー、施設見学会等を引き続き実施する。また、各展示館を訪問するきっかけとなる仕組みづくりや、SNSを活用した情報発信について、掲載内容を工夫し、より多くの人に見てもらえるよう充実させていく。

・東京国際合唱コンクールは、引き続きコンクールにおける区民招待者枠の確保に努めるとともに、関連事業であるまちかどコンサートを実施し、より多くの区民に気軽にハイレベルな合唱を楽しめる機会を提供していく。

・まるとミュージアムやまちかど展示館等を通じて、引き続き、本区の歴史と伝統、多様な魅力を区民・来街者に広く知ってもらう機会の充実を図っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大 事 業	中 事 業 1	郷土天文館「タイムドーム明石」の管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
郷土天文館「タイムドーム明石」管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

- ・中央区の文化財や区内の遺跡から出土した遺物等を紹介する常設展示等を管理運営し、広く区民等に周知を図る。
- ・新たに登録・指定した区民文化財を紹介する企画展等やテーマに沿った特別展を開催し、区の魅力あふれる歴史や文化を伝える。
- ・プラネタリウムの学習投影を通じて、児童の理科や科学への興味を深める。さらに、生涯学習施設として区民等が知的探究心を満足させることができる空間として、また、エンターテインメント番組などの投影を行うことで、リラクゼーション空間としても活用を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

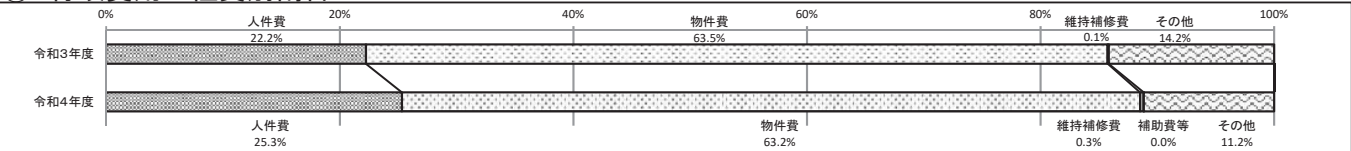
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	31,491,580	37,607,902	6,116,322	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	89,904,573	93,891,764	3,987,191		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	140,800	469,700	328,900		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	104,125	95,716
	補助費等	0	19,000	19,000		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	4,315,300	0	△4,315,300		使用料及び手数料	2,683,500	1,666,550
	減価償却費	14,778,336	14,778,336	0		その他	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	2,787,625	1,762,266
	賞与・退職給与引当金繰入額	964,979	1,786,974	821,995		行政収支差額	△138,807,943	△146,791,410
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
	小 計	141,595,568	148,553,676	6,958,108		通常収支差額	△138,807,943	△146,791,410
	特別費用	0	1	1		当期収支差額	△138,807,943	△146,791,411
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		124,227,400	132,469,329
特別収支差額		0	△1	△1	再計(一般財源調整後)		△14,580,543	△14,322,082
								258,461

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	・受付業務およびプラネタリウム投影委託 20,672,979円 ・所蔵品保管委託料 10,111,543円 ・本の森ちゅうおう郷土資料館における展示コンテンツ原稿作成等業務委託 4,988,500円	決算額の主な内訳	・会計年度任用職員報酬及び期末手当 21,677,677円
主な増減理由	・本の森ちゅうおう郷土資料館における展示コンテンツ原稿作成等業務委託料の皆増 4,988,500円 ・郷土天文館収蔵品管理データベースシステム機器の借入れ費用の皆減 △1,723,680円	主な増減理由	・文化財調査指導員の退職に伴う報酬および期末手当の減 △1,495,001円

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・郷土天文館入口看板および袖看板シート張付等工事 469,700円	決算額の主な内訳	・郷土天文館使用料 1,666,550円
主な増減理由	・郷土天文館入口看板および袖看板シート張付等工事費の皆増 469,700円	主な増減理由	・郷土天文館における有料展示等の終了による使用料減 △1,016,950円

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

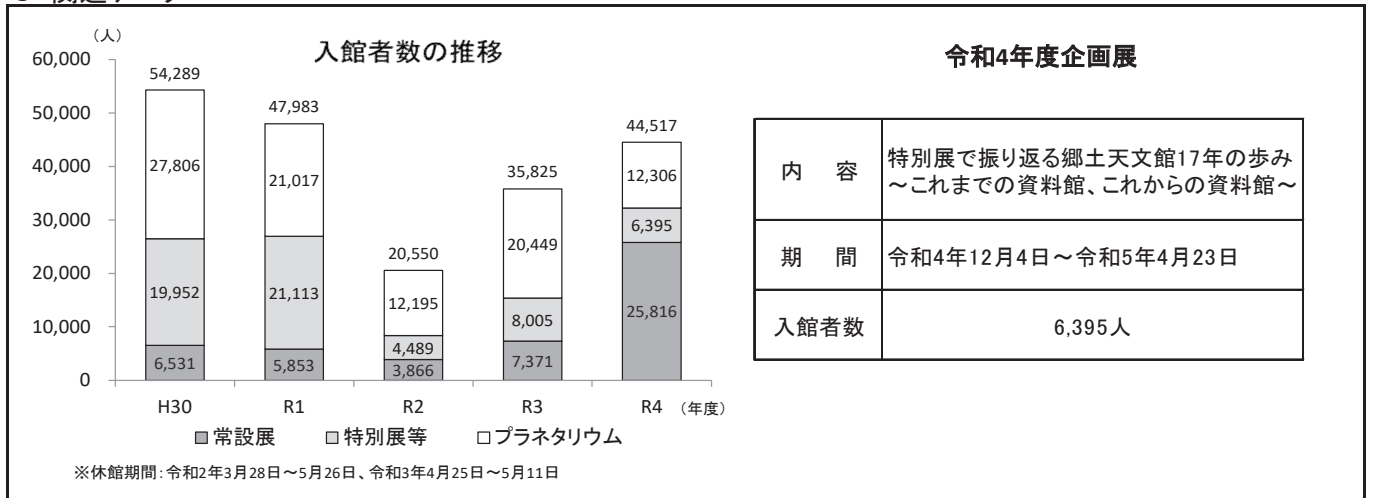
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	406,891	790,308	383,417
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	203,045,538	1,199,535,422	996,489,884	退職給与引当金	6,131,024	10,570,115	4,439,091
工作物	2,138,830	1,898,820	△240,010	その他	0	0	0
重要物品	32,200,003	46,721,902	14,521,899	負債の部合計	6,537,915	11,360,423	4,822,508
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	230,846,456	1,236,795,721	1,005,949,265
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	237,384,371	1,248,156,144	1,010,771,773
資産の部 合計	237,384,371	1,248,156,144	1,010,771,773				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	重要物品
決算額の主な内訳	・郷土資料館および郷土天文館等 1,199,535,422円	決算額の主な内訳	・記念物(9点) 32,200,000円※非減価償却資産 ・コンピューター(2台) 12,800,900円
主な増減理由	・郷土資料館建設に伴う増 1,011,028,210円 ・減価償却による減 △14,538,326円	主な増減理由	・コンピューター(2台)皆増 12,800,900円
勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・あかつき公園内シーボルト胸像 937,280円 ・江戸港史跡碑 420,000円 ・海軍経理学校記念碑 304,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・減価償却による減 △240,010円	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・郷土天文館では収蔵資料を中心に常設展示を行ってきた。令和4年12月4日開設の「本の森ちゅうおう」に郷土資料館として移転し、デジタルコンテンツでの常設展示とともに特定のテーマを決め企画展を実施した。今後も、本区に存在する豊富な文化遺産を有効に活用し、文化や歴史の魅力を多くの人に発信していくことが必要である。

・プラネタリウムは、親子でプラネタリウム、ヒーリングプラネタリウム等来館者のニーズに合わせた番組、人気の高いエンターテインメント番組を上映する一般投影は令和4年8月31日まで、主に小学校3・4学年を対象に、太陽や月の動きなどを学ぶ学習投影は令和4年11月30日までそれぞれ実施した(移転に伴い終了)。

・郷土資料館と図書館との併設という「本の森ちゅうおう」のメリットをいかし、相互に連携しながら、区の歴史・文化への関心を高める効果的な展示・紹介を行っていく必要がある。

② 今後の方向性

・時流をとらえたテーマによる企画展・特別展の開催、常設展の展示内容の充実等、魅力ある展示を行うことで、区民等が直接文化財にふれる機会の充実を図るとともに、収蔵品アーカイブズにより、時間や場所を問わずより多くの文化財にふれる機会を提供することで、文化財の有効活用および文化財に対する理解の促進を図る。

・プラネタリウムについて、一般投影はミニプラネタリウム事業を本の森ちゅうおうで行い、学習投影は教育センターへ引継ぎ、活用していく。

・「本の森ちゅうおう」内に整備された郷土資料館は、企画展・特別展の展覧会を通じ、江戸以来の豊富な歴史・文化資料である郷土資料や地域資料を融合した展示や関連書籍の配架を行うなど、効果的に情報を発信し、文化財のさらなる活用を図る。また、資料をデジタル化し、ICTを活用など、来館する多くの方々が本区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示の検討をする。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。
関連する個別計画	中央区教育振興基本計画2020

大事業	中事業1	文化財の保護	中事業2		中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
文化財保護事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・中央区の文化財を登録・指定し、地域の歴史や文化に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承を図る。
・文化財説明板の設置や中央区の歴史・文化に関連するテーマを設定して、区民等を対象とした文化財めぐりを春と秋に実施することで、区内の文化遺産に対する愛着や理解を深め、その保護・普及を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

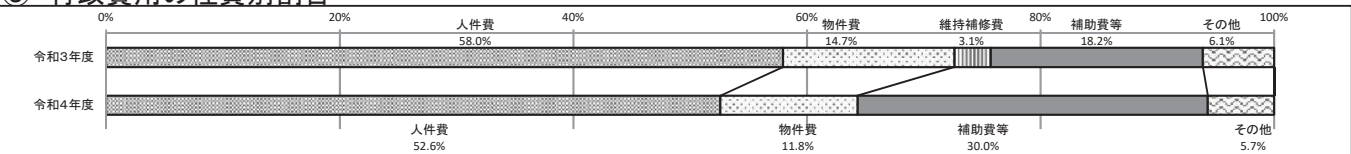
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	11,666,072	12,409,668	743,596	行政収入	地方区税	0	0
	物件費	2,949,645	2,774,183	△175,462		特別区財政調整交付金	0	0
	維持補修費	627,000	0	△627,000		国庫支出金	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0
	補助費等	3,654,900	7,075,900	3,421,000		分担金及び負担金	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	158,310	97,520
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小計	158,310	97,520
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,228,156	1,340,232	112,076		行政収支差額	△19,967,463	△23,502,463
	その他	0	0	0		金融収支差額	0	0
小計		20,125,773	23,599,983	3,474,210	通常収支差額		△19,967,463	△23,502,463
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△19,967,463	△23,502,463
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		20,219,199	23,844,653
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		251,736	342,190

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・文化財修理の助成金 3,166,900円 ・文化財調査補助員謝礼 1,701,000円 ・中央区民文化財保護奨励金 1,380,000円	決算額の主な内訳	・文化財めぐりマップ印刷 907,500円 ・マイクロフィルム撮影委託 792,000円 ・過年度撮影マイクロフィルム電子化業務委託 528,000円
主な増減理由	・文化財修理の助成金皆増 3,166,900円 ・文化財調査補助員謝礼金の実績増 251,100円	主な増減理由	・文化財めぐりマップ印刷費用の皆増 907,500円 ・埋蔵文化財選別・運搬業務委託料の皆減 △660,000円 ・マイクロフィルム撮影委託料の減 △553,300円

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・有償刊行物販売 97,520円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・有償刊行物販売実績の減 △60,790円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

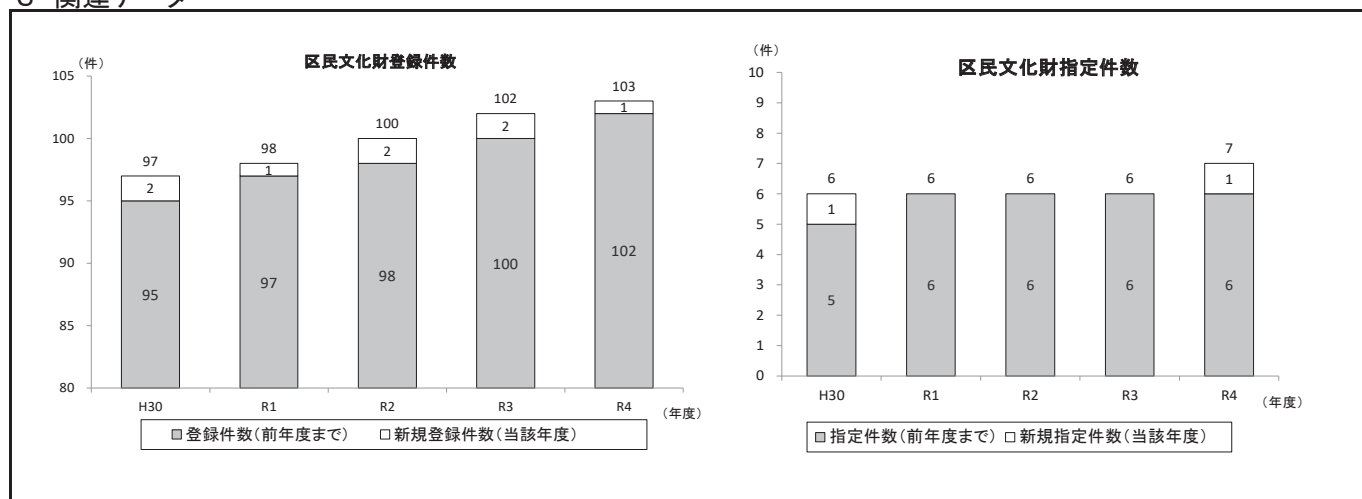
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	517,861	592,731	74,870
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	7,803,122	7,927,587	124,465
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	8,320,983	8,520,318	199,335
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△8,320,983	△8,520,318	△199,335
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・中央区民文化財を新たに1件登録、中央区指定文化財を新たに1件指定し、広報紙や区ホームページ等で広く周知し、地域の文化や歴史に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承に取り組んだ。(指定文化財7件、登録文化財103件)
- ・文化財保護意識の普及・啓発を図るため、英語表記や図版を取り入れた文化財説明板を設置している。これにより、より多くの人へ文化財に対する理解を深めることができた。
- ・毎年、春と秋の2回実施している文化財めぐりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。
- ・歴史的建造物については、老朽化に伴う維持管理費用の負担増等の理由により、その価値を棄損する恐れがある。歴史的財産の保護に向け、区民の文化財保護意識のさらなる普及・啓発を図るため、文化財の適切な管理と積極的な紹介をしていく必要がある。

② 今後の方向性

- ・有形・無形の文化遺産について文化財調査指導員による調査を進め、重要なものは所有者への働きかけや助言をするなど区民文化財として登録・指定を促し、適切に管理するとともに、常設展示や広報紙、区ホームページ等で幅広く公開していくことで、文化財保護の意識を高める普及・啓発を図る。
- ・文化財説明板の設置においては、引き続き図版や英語表記を適宜追加する。
- ・地域の文化や歴史を普及・啓発していくため、より多くの人々が参加できるような文化財めぐりの実施方法等を検討する。
- ・歴史的に価値がある建築物をまとめた「近代建築物100選」の映像資料の活用や、文化財めぐり等の実施により、本区の文化や歴史の魅力を積極的に発信し、観光振興等にも寄与できるよう検討する。
- ・区民が撮影、記録した区の日常風景などを収集しデジタルによるアーカイブ化を推進するとともに、文化財等を次代へ継承する意義を啓発していく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	都 市 間 交 流 の 推 進	中 事 業 2		中 事 業 3	
地域間交流の 推進事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・各都市との交流を通じて、異なる歴史や風土を持つ都市の個性を尊重し、学び合いながら、それぞれの都市の発展につなげることを目的としている。なかでも友好都市である山形県東根市とは、本区の児童が風土や文化を異にする都市との交流により互いの理解・友情を深め、豊かな心を育むことを目的に、「中央区・東根市児童交歓会」を実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

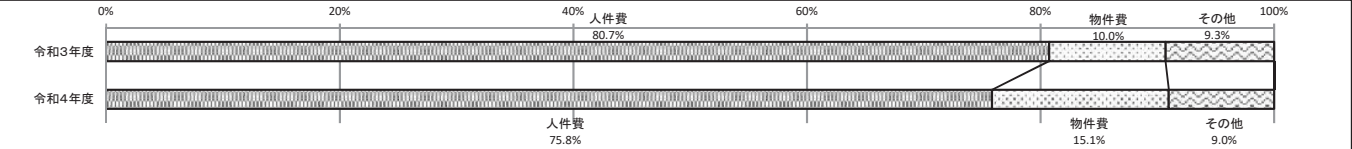
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	9,136,406	7,514,310	△1,622,096	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	1,127,774	1,500,112	372,338		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	855,120	376,000	△479,120
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		855,120	376,000	△479,120
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,052,705	893,488	△159,217	行政収支差額		△10,461,765	△9,531,910	929,855
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		11,316,885	9,907,910	△1,408,975	通常収支差額		△10,461,765	△9,531,910	929,855
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△10,461,765	△9,531,910	929,855
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		10,677,539	9,760,037	△917,502
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		215,774	228,127	12,353

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・児童交歓会 参加者交通費 697,200円 ・児童交歓会 参加者宿泊料 323,000円 ・児童交歓会に伴う旅費 144,670円	決算額の主な内訳	・児童交歓会 参加者負担金 376,000円
主な増減理由	・児童交歓会 参加者交通費の皆増 697,200円 ・児童交歓会 参加者宿泊料の皆増 323,000円 ・友好都市東根市展実施委託の皆減 △608,520円	主な増減理由	・児童交歓会 参加者負担金の皆増 376,000円 ・特別区全国連携プロジェクト関連事業費収入の皆減 △855,120円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	443,881	395,154	△48,727
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	6,688,390	5,285,058	△1,403,332
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	7,132,271	5,680,212	△1,452,059
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△7,132,271	△5,680,212	1,452,059
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由

3 関連データ

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
さくらんぼマラソン大会参加者数(人) (中央区オリジナルTシャツ申込者数(※1))	12,564(45)	0(0) (※3)	3,082(0) (オンライン開催)	3,942(0) (オンライン開催)
児童交歓会参加者数(人・組)	38(19)	0(0) (※4)	0(0) (※3)	38(18)
児童交歓会応募者数(人・組)(※2)	44(22)	-	-	119(56)
東根市とのスポーツ少年団交流参加者数(人)	51	0	0	0
さくらんぼ種飛ばし大会参加者数(人)	0 (雨天中止)	(※3)	(※3)	(※3)

※1 対象は区内在住・在学・在勤者

※2 隔年で新規の募集を実施しているが、令和3年度は※4により実施せず、令和4年度に募集再開

※3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

※4 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和3年度に延期

東根市との交流事業に参加した区民の人数

年度	児童交歓会 (人)	スポーツ少年団 (人)
H30	60	25
R1	89	38
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	38

※ 令和2・3年度は、※3および※4のため実施なし

4 総括

① 現状・成果・課題

・新型コロナウイルス感染症による影響等により、友好都市・交流都市においてイベントの中止や縮小開催が相次ぎ、イベントを伴う交流事業の実施はなかった。【令和4年度に中止となった各都市のイベントを伴う交流事業】(山形県東根市)さくらんぼ種飛ばし大会、スポーツ少年団交流 (岡山県玉野市)たまの・港フェスティバル (山梨県富士河口湖町)本栖湖神湖祭

・友好都市の東根市については、令和4年度オンラインで開催されたさくらんぼマラソン、例年実施しているさくらんぼ品評会の後援、区内幼稚園に対するさくらんぼ・りんごの配布など、コロナ禍においても可能な交流事業を、継続的に実施している。

・児童交歓会は、例年、小学校3年生および4年生を募集対象としているが、令和4年度は、コロナ禍による事業延期等の影響を受けて参加できなかった児童も参加できるよう、5年生まで対象を拡大し実施した。本事業実施後も、参加者同士では、手紙やSNSで連絡を取り合うなど、区民・市民間で交流が進んでいる。

・基本計画2018の対象となる5年間のうち、令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により多くのイベントが中止となった。こうした中でも、実施が可能であったイベントを通じて、友好都市・交流都市としての協力を継続的に実施した。現在は、ウィズコロナへの社会状況の変化に伴い、区および友好都市・交流都市のイベントによる交流事業は再開傾向にある。

② 今後の方向性

・児童交歓会については、参加者の意見を取り入れながら、参加者の思い出に残るよう企画していく。また、本区の参加者同士の交流を図る事前交流会のほか、本区と東根市の参加者が事業終了後の交流を続けられるように、コミュニケーションを活性化するための工夫を行っていく。

・今後は、コロナ禍により中止となっていた交流行事の再開が見込まれる。国や東京都、社会状況の動向を注視しつつ、交流行事を通じ、友好都市・交流都市として協力を継続していくとともに、コロナ禍で中断せざるを得なかった各都市・地域との連携を改めて深めていくことで、それぞれの都市・地域の発展・成長を目指す。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	平和事業の推進	中事業2	中事業3
平和推進事業	中事業4		中事業5	中事業6
	中事業7		中事業8	中事業9
	中事業10		中事業11	中事業12
	中事業13		中事業14	中事業15
	中事業16		中事業17	中事業18

1 事業の目的

・中央区平和都市宣言(昭和63年3月15日告示)を記念して開始した「平和の都市の楽しい集い」の開催、当時を物語る写真や戦災資料を展示する「平和展」や「小・中学校巡回平和展」、日ごろから平和について考えるきっかけの場を提供するため、戦災に関する写真や資料を公開する「平和祈念バーチャルミュージアム」等の各種平和事業の実施を通じ、区民への平和意識の普及・啓発に努める。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

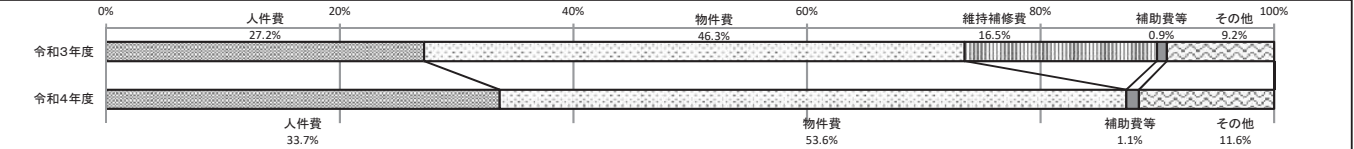
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	9,136,406	9,017,173	△119,233	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	15,535,445	14,354,879	△1,180,566		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	5,530,800	0	△5,530,800		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支支出金	0	0	0
	補助費等	287,544	289,383	1,839		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,027,257	2,027,257	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0		小 計	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,052,705	1,072,185	19,480	行政収支差額	△33,570,157	△26,760,877	6,809,280	
	その他	0	0	0	金融収支差額	0	0	0	
	小 計	33,570,157	26,760,877	△6,809,280	通常収支差額	△33,570,157	△26,760,877	6,809,280	
	特別費用	0	0	0	当期収支差額	△33,570,157	△26,760,877	6,809,280	
特別収入	0	0	0	一般財源充当調整	31,758,674	25,007,372	△6,751,302		
特別収支差額	0	0	0	再計（一般財源調整後）	△1,811,483	△1,753,505	57,978		

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・平和の都市の楽しい集い実施委託 9,339,000円 ・中央区立小・中学校巡回平和展実施委託 2,068,000円 ・中央区平和展実施委託 913,000円	決算額の主な内訳	・実績なし
主な増減理由	・平和祈念バーチャルミュージアム運用・管理の委託料の皆減 △1,470,920円 ・中央区立小・中学校巡回平和展実施委託料の増 209,000円 ・平和モニュメント清掃等委託料の皆減 132,000円	主な増減理由	・平和モニュメント移設工事の皆減 △4,353,800円 ・平和モニュメント移設に伴う移植等工事の皆減 △1,177,000円

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・平和祈念バーチャルミュージアム企画展示室の企画・原稿執筆等に伴う謝礼 225,000円 ・「平和の都市の楽しい集い」ミス中央謝礼 45,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・平和の鐘電気料金分担金の実績増 1,839円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	443,881	474,185	30,304
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	37,461,999	35,434,742	△2,027,257	退職給与引当金	6,688,390	6,342,069	△346,321
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	7,132,271	6,816,254	△316,017
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	30,329,728	28,618,488	△1,711,240
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	37,461,999	35,434,742	△2,027,257
資産の部 合計	37,461,999	35,434,742	△2,027,257				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・蛸殻町公園平和シンボル 19,570,000円 ・平和の鐘 12,329,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 2,929,320円	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	・蛸殻町公園平和シンボル減価償却による減 △1,030,000円 ・平和の鐘減価償却による減 △770,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑減価償却による減 △162,740円	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

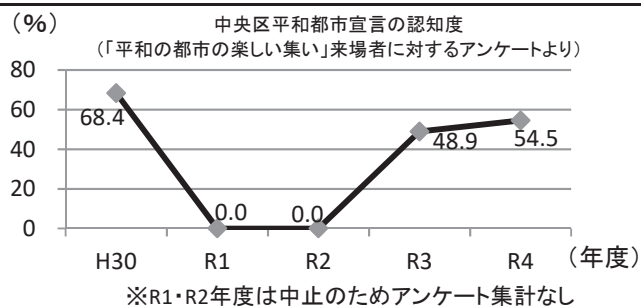
項目	令和3年度	令和4年度
平和の都市の楽しい集い来場者数(人)	372(※1)	859
平和祈念バーチャルミュージアム総アクセス数(件)(※2)	283,498	537,386
平和資料(写真)保存数累計(枚)	345	351
平和資料(物品)保存数累計(点)	286	298

※1感染症対策のため、定員の約半分で実施した。

※2バーチャルミュージアム内の全ページのアクセス数の合計である。

○各事業のアンケートの意見(抜粋)

【平和の都市の楽しい集い】・コロナ後、はじめてコンサートに行きました。素晴らしく感動しました。・歌も演奏もトークも「平和」というテーマにふさわしい内容でした。【平和展】写真の他、展示物もあり、平和の尊さについて考えさせられた。ありがとうございます。入り口にあるので立ち寄りやすかった。【巡回平和展】(小1)しゃしんを見てどれだけくるしくてかなしくてたいへんだったかよくわかった。(小6)1年生の時から何度もみているけれど、やっぱり戦争はおそろしいなと思った。



4 総括

① 現状・成果・課題

・当時を物語る写真や戦災資料を公開展示する「平和展」を毎年開催するとともに、区立の小・中学校において「巡回平和展」を実施し、社会科の授業で活用してもらうことなどにより、平和について考える契機づくりに寄与している。

・平和祈念バーチャルミュージアムにおいて、令和4年度のアクセス数が大きく伸びていることから、ウクライナ情勢等の影響により平和への関心が高まっていることが推察される。新しい企画展示を追加するなど、引き続き平和意識の普及・啓発を図っていく必要がある。

・中央区平和都市宣言の認知度はやや向上したものの、コロナ禍前より低い水準にあることから、「平和の都市の楽しい集い」を継続し、宣言の認知度を高めていく必要がある。

・基本計画2018の対象となる5年の間に新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和元年、2年度と「平和の都市の楽しい集い」が実施できないといった影響もあったが、感染対策を講じるなど状況に応じて工夫して平和推進事業を進めていくことができた。

② 今後の方向性

・悲惨な戦争の記憶を後世に伝えることがますます難しくなっている中、今後も平和に関する資料の収集・保存を進め、平和の大切さ、尊さを見つめ直す機会を提供し、平和に関する普及・啓発事業を継続的に展開していく。

令和5年度（令和4年度分）事業別行政評価シート		部課名	区民部文化・生涯学習課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	国 際 交 流 の 推 進	中 事 業 2	ウクライナ避難民への生活支援事業	中 事 業 3	
国際交流の推進事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・姉妹都市との交流や異文化とのふれあいを通して区民の国際意識の向上と国際都市にふさわしい文化を育む。また、外国人向けの情報の充実や区民が主体となて行う国際交流事業を通じ、外国人区民が地域の文化や習慣に親しめる暮らしやすいまちにする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

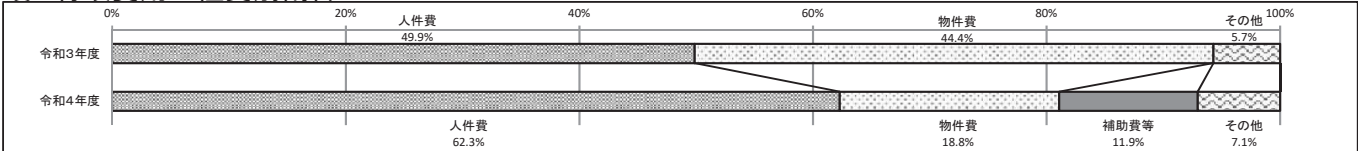
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	7,662,223	6,305,129	△1,357,094	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	6,826,439	1,902,251	△4,924,188		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	1,200,000	1,200,000
	補助費等	0	1,200,000	1,200,000		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	1,200,000	1,200,000
	賞与・退職給与引当金繰入額	877,255	714,790	△162,465	行政収支差額		△15,365,917	△8,922,170	6,443,747
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		15,365,917	10,122,170	△5,243,747	通常収支差額		△15,365,917	△8,922,170	6,443,747
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△15,365,917	△8,922,170	6,443,747
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		15,545,728	9,104,672	△6,441,056
特別収支差額		0	0	0	再計（一般財源調整後）		179,811	182,502	2,691

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・通訳・翻訳に係る人材派遣 1,800,165円	決算額の主な内訳	・ウクライナ避難民への生活支援一時金の支給 1,200,000円
主な増減理由	・外国人向け生活ガイドブックおよびサザランド市姉妹都市提携30周年記念誌作成経費皆減 △3,575,000円 ・通訳・翻訳に係る人材派遣の配置日数減による役務費減 △1,408,974円	主な増減理由	・ウクライナ避難民への生活支援一時金皆増 1,200,000円

勘定科目	都支出金	勘定科目	
決算額の主な内訳	・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,200,000円	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	・ウクライナ避難民への生活支援一時金支給に伴う新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金皆増 1,200,000円	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

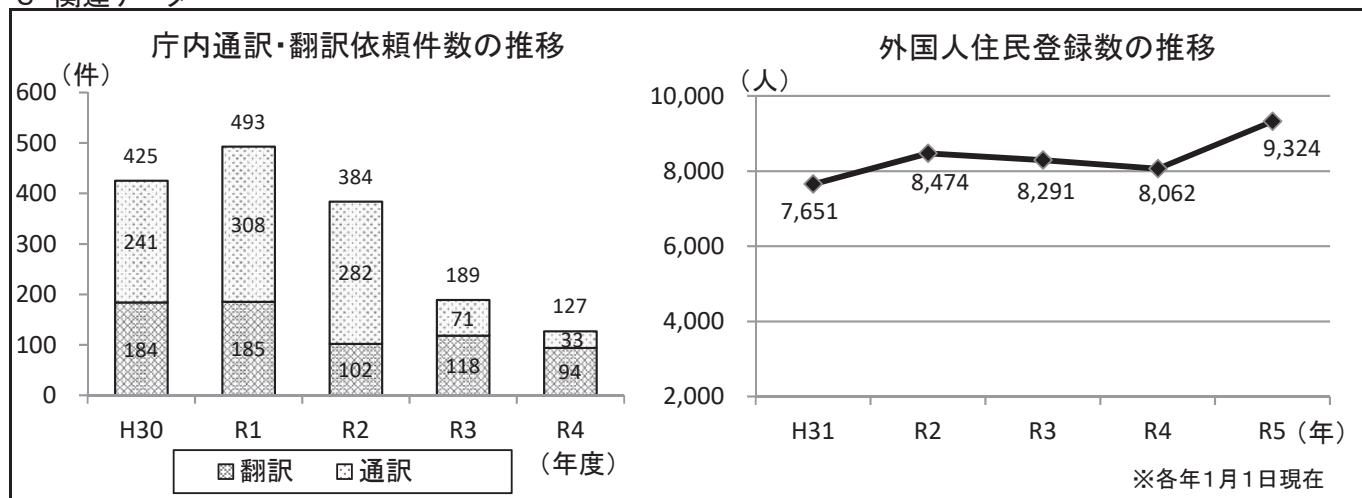
勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	369,900	316,123	△53,777
				その他	0	0	0
固定資産				固定負債			
土地	0	0	0	特別区債	0	0	0
建物	0	0	0	退職給与引当金	5,573,659	4,228,046	△1,345,613
工作物	0	0	0	その他	0	0	0
重要物品	0	0	0	負債の部合計	5,943,559	4,544,169	△1,399,390
インフラ資産	0	0	0	正味財産の部合計	△5,943,559	△4,544,169	1,399,390
建設仮勘定	0	0	0				
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳	—	決算額の 主な内訳	—
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・姉妹都市であるオーストラリアのサザランド市と5年に1度、周年行事の一つとして代表团による訪問と受け入れを行っている。
 ・外国人からの問合せなどに対し、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら、案内を適切に行っている。また、通訳・翻訳窓口の設置日については、タブレット端末を活用したテレビ電話通訳や音声機械通訳による外国語通訳サービスを令和3年度から開始したことに伴い、週3回から週2回に変更した。外国語通訳サービスの開始により、通訳依頼件数は減少傾向にある。
 ・生活ガイドブックを転入時に配布し、本区の行政サービス等の案内を行う際に積極的な活用を促し、外国人が暮らしやすい環境づくりを進めている。(3年ごとに改定)
 ・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、通訳・翻訳窓口に加え、外国語通訳サービスを開始したことにより多言語対応が可能となり、外国人区民等に対するサービスの拡充を図ることができた。

② 今後の方向性

・サザランド市との姉妹都市提携の周年行事については、35周年(令和8年)の事業実施に向けてサザランド市と適宜協議していく。
 ・通訳・翻訳窓口の運営については、タブレット端末の活用等では対応が難しいケースがあり、通訳者を介しての対応が必要になることから、今後も、通訳については、窓口で対応する職員と通訳担当が連携しながら案内を適切に行い、翻訳については、依頼者である職員と通訳担当が連絡を密に取りながら行政サービス等の情報をより正確に翻訳するよう努めていく。
 ・外国人区民が日常生活に役立てられる行政サービスについて、東京都主催の会議や研修会に参加するなどさまざまな機会を捉えて把握に努めていく。

令和5年度(令和4年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部文化・生涯学習課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	「中央区文化・国際交流振興協会」助成	中事業2		中事業3	
「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・本区で生活する人々が主体的に文化活動や国際交流を進め、人間性豊かで住みやすく、楽しく、誇れるまちにしていくなために設立された中央区文化・国際交流振興協会(以下、「協会」という。)に対して、その円滑な事業運営を図るために助成を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

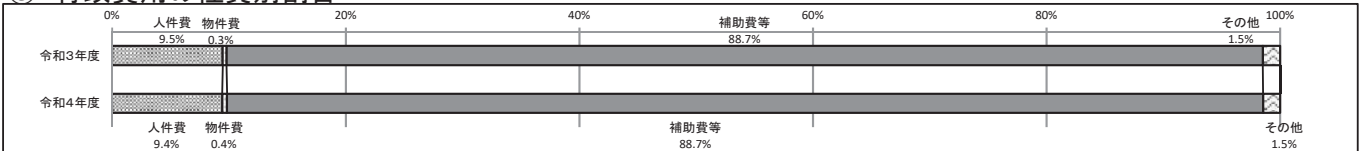
勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目		令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	10,727,113	11,033,975	306,862	行政収入	地方区税	0	0	0
	物件費	376,306	478,356	102,050		特別区財政調整交付金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0		国庫支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		都支出金	0	0	0
	補助費等	100,510,462	103,813,020	3,302,558		分担金及び負担金	0	0	0
	投資的経費	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	451,392	451,392	0		その他	0	0	0
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	0	0	小 計		0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,228,156	1,250,883	22,727	行政収支差額		△113,293,429	△117,027,626	△3,734,197
	その他	0	0	0	金融収支差額		0	0	0
小 計		113,293,429	117,027,626	3,734,197	通常収支差額		△113,293,429	△117,027,626	△3,734,197
特別費用		0	0	0	当期収支差額		△113,293,429	△117,027,626	△3,734,197
特別収入		0	0	0	一般財源充当調整		113,093,773	116,895,612	3,801,839
特別収支差額		0	0	0	再計(一般財源調整後)		△199,656	△132,014	67,642

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・協会助成金 103,813,020円	決算額の主な内訳	・光熱水費および施設維持管理費 475,854円
主な増減理由	・まるごとミュージアムに係る貸切バス運行再開等による増 4,145,594円 ・昨年中止した国際交流のつどいを開催したことによる皆増 1,485,710円 ・協会創立30周年記念事業経費皆減 △2,302,494円	主な増減理由	・光熱水費実績増 102,597円

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳	—	決算額の主な内訳	—
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

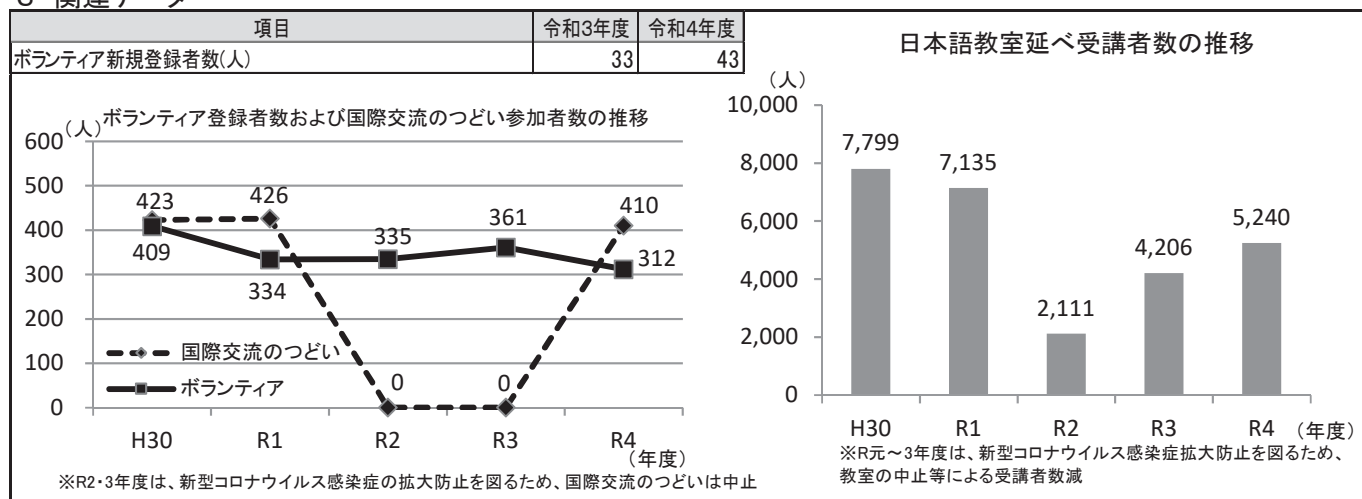
(単位:円)

勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
その他	0	0	0	賞与引当金	517,861	553,215	35,354
固定資産				その他	0	0	0
土地	0	0	0	固定負債			
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
工作物	0	0	0	退職給与引当金	7,803,122	7,399,081	△404,041
重要物品	0	0	0	その他	0	0	0
インフラ資産	0	0	0	負債の部合計	8,320,983	7,952,296	△368,687
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	△8,320,983	△7,952,296	368,687
その他	0	0	0	負債・正味財産の部合計	0	0	0
資産の部 合計	0	0	0				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	勘定科目
決算額の 主な内訳	決算額の 主な内訳
主な 増減理由	主な 増減理由

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・文化振興事業は、古典芸能鑑賞会、文化講座等を開催することにより、区民が文化に触れる機会を提供するとともに、文化事業を行う9団体へ経費の一部を助成し、区民主体で行われる文化活動に対し支援することができた。
- ・国際交流振興事業は、「国際交流のつどい」、「国際交流サロン」(全10回)を開催し、異文化理解・相互理解を図った。
- ・日本語教室は、新型コロナウイルス感染症により開催時間の短縮や開催日を減らすなどの対応を行い、日本語を学びたい外国人に対し教室を開催した。また、日本語指導者養成講座の開催によりボランティア指導者を養成するとともに、各教室の日本語指導者に対し日本語ステップアップ講座を開催し、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図った。引き続き、日本語指導者の指導力・技法のレベルアップを図るとともに、より多くの外国人が日本語を学べるよう日本語指導者を養成し、日本語教室を開催する必要がある。
- ・協会登録のボランティアの登録更新(3年ごと)を行った結果、高齢や家庭の事情等の理由により登録者数は減っているが、新規登録者数においては前年度より増加している。また、ボランティア派遣は、感染症の影響により派遣機会は減ったが、ボランティア研修会を実施し、ボランティア活動支援を図った。引き続き、保健センターで実施している1歳6カ月児健診等での通訳のほかに活動場所の拡大や、一人一人のスキルアップ等への活動支援を強化していく必要がある。
- ・基本計画2018の対象となる5年間を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、文化振興事業を開催し、伝統文化や各種文化に係る歴史等に対する理解を深めてもらうとともに、日本の文化を体験できるイベント等を通じて日本人と外国人が交流を楽しめる場を提供し、相互理解を深めてもらうことができた。

② 今後の方向性

- ・区民が文化に触れる機会をより多く持つため、各種文化事業の一層の充実を図るとともに継続的な活動への支援を行っていく。
- ・国際交流振興事業は、異文化理解・相互理解を図るため、外国人区民等を対象とする「国際交流のつどい」や「国際交流サロン」などの各種国際交流事業に対し支援していく。
- ・協会およびボランティア団体を実施する「日本語教室」について、日本語指導者の指導力・技法のスキルアップを引き続き行うとともに、日本語指導者養成講座を受講したボランティアに日本語教室の開催を促すなど、拡充を図る。
- ・協会に登録している通訳・翻訳ボランティア等が多様な分野で活躍できるよう、引き続き支援を行っていく。

